

Jewelry Design_1

JD	授業科目名	担当講師	学期	午前/午後	必修/選択	授業形態	時間数
1年	ジュエリーデザイン1	富永 文	前期	午前	必修	実技	42
■授業内容 ジュエリーを実際に制作しながら、道具の使い方や金具、チェーンの機能や取り付け方、型紙の取り方、身体との関係を学ぶ							
■到達目標 各種金具の取り付け方を学び、身体との関係を理解する							
■授業計画							
	月日	曜日	授業項目	内容	教室	備考	
1	4/16	火	すり出しリング①	サイズ計測、地金の切り出し、刻印、ロウ付け	5		
2	4/23	火	すりだしリング③	すり出し			
3	4/30	火	すりだしリング⑤	〃			
4	5/7	火	すりだしリング⑥	磨き			
5	5/14	火	パールリング①	延べ槌を整形し、角棒から延べ出し、リングを丸める			
6	5/21	火	パールリング②	リングのサイズ出し			
7	5/28	火	パールリング③	磨き、パール接着			
8	6/4	火	パールリング④	講評			
9	6/11	火	カフス①	地金切り出し			
10	6/11	火	カフス②	金具のロウ付け			
11	6/18	火	カフス③	彫り			
12	6/18	火	チャーム①	地金切り出し			
13	7/9	火	チャーム③	五光留め練習、地金の切り出し、石留め、磨き			
14	7/23	火	カフス④	講評			
■履修上の注意事項 デザインチェック、制作行程チェック 課題完成後、作品に併せてレポートを提出 石の紛失があるので、机周りを片付けておく							
■評価方法 課題の完成度、出席率、理解度を合わせ、総合的に評価							
■教科書、教材 プリント / 銅板、銀板、銀線、パール、石							
■授業時間以外の学習 デザイン、アイデアをストック(スケッチ、ドローイング、写真など)、練習、展示会の見学							
■教員紹介 山脇卒業後、ジュエリー企業2社に勤務後フリーランス クラフト、デザイン、サービス開発に携わる							
■その他 ・すりだしリング:指輪の制作、サイズ出し、やすり技法の習得 ・パールリング:金属の展延性、パールの接着、金槌、やすり技法の習得 ・石入りイヤリング:イヤリング金具の仕組み、回数の多いロウ付け、覆輪留めの習得 ・カフス:カフス金具の仕組みの習得、表面装飾は伝統彫金1で行う							

JD	授業科目名	担当講師	学期	午前/午後	必修/選択	授業形態	時間数	
1年	ジュエリーデザイン1	富永 文	後期前半	午前	必修	実技	42	
■授業内容 彫り留めを生かしたジュエリーをデザインして仕上げる								
■到達目標 彫り留めが出来るようになる								
■授業計画								
	月日	曜日	授業項目	内容	教室	備考		
1	9/17	火	進級制作デザイン①	進級制作、デザイン	5			
2	10/8	火	1、2年生企画プレゼン	進級制作企画プレゼンテーション	7 or ギャラリー			
3	10/9	水	進級制作デザイン⑤	進級制作、デザイン	5			
4	10/15	火	進級制作デザイン⑥	〃				
5	10/22	火	ライン留め②	工程説明、リング制作	5			
6	10/29	火	ライン留め④	リング制作、銀板に石留め練習				
7	11/5	火	制作①	進級制作				
8	11/12	火	制作③	〃				
9	11/19	火	制作⑤	〃				
10	11/26	火	制作⑦	〃				
11	12/3	火	制作⑨	〃				
12	12/10	火	制作⑪	〃				
13	12/17	火	制作⑬	〃				
14	12/24	火	制作⑮	〃				
■履修上の注意事項 デザインチェック、制作行程チェック 課題完成後、作品に併せてレポートを提出 石の紛失があるので、机周りを片付けておく								
■評価方法 課題の完成度、出席率、理解度を合わせ、総合的に評価								
■教科書、教材 プリント、雑誌等資料 / 銀板、銀線、石								
■授業時間以外の学習 デザイン、アイデアをストック(スケッチ、ドローイング、写真など)、練習、展示会の見学								
■教員紹介 山脇卒業後、ジュエリー企業2社に勤務後フリーランス クラフト、デザイン、サービス開発に携わる								
■その他								

JD	授業科目名	担当講師	学期	午前/午後	必修/選択	授業形態	時間数
1年	ストーンセッティング1	富永 文	前期	午後	必修	実技	42
■授業内容 石留めの構造を学び、覆輪を作り、覆輪留めをする 彫り留め技法(チョコ留め、ふせこみ、五光留め、ます留め、なわ留め等)を理解し、数多く練習する							
■到達目標 覆輪を作り、覆輪留めが出来るようになる イヤリング金具、カフス金具の仕組みを知り、着けられるようになる							
■授業計画							
	月日	曜日	授業項目	内容	教室	備考	
1	4/17	水	すりだしリング②	リングに印を付け、すり出し	5		
2	4/24	水	すりだしリング④	磨き			
3	5/1	水	石入りイヤリング①	延べ槌を整形し、角棒から延べ出し、リングを丸める			
4	5/8	水	石入りイヤリング②	〃			
5	5/15	水	石入りイヤリング③	金具のロウ付け			
6	5/22	水	石入りイヤリング④	覆輪、より線のロウ付け			
7	5/29	水	石入りイヤリング⑤	金具、銀ボールのロウ付け			
8	6/5	水	石入りイヤリング⑥	石留め、磨き			
9	6/12	水	彫り留め練習①	石と石座の関係、石留めの仕組みを理解する			
10	6/19	水	五光留め①	五光留め練習			
11	6/26	水	五光留め②	〃			
12	7/3	水	チャーム②	五光留め練習、地金の切り出し、石留め、磨き			
13	7/10	水	チャーム④	石留め、磨き			
14	7/17	水	チャーム⑤	講評			
■履修上の注意事項 石の紛失があるので、机周りを片付けておく							
■評価方法 仕組みの理解度、石留めの仕上がり、作品の質:60% / 授業態度、授業進度、提出時期:10% / レポート:30%							
■教科書、教材 プリント / 銅板、銀板、銀線、パール、石							
■授業時間以外の学習 見学、レポート、デザイン							
■教員紹介 山脇卒業後、ジュエリー企業2社に勤務後フリーランス クラフト、デザイン、サービス開発に携わる							
■その他 彫り練習(日本伝統彫金1)の進捗により、多少授業の順番が変わる可能性があります。 ジュエリー製造の現場で、量産品からハイクラスの一点物まで手掛ける石留め職人の講師が、実習を通して設備道具の調節から石留めの基礎技法を指導する。							

JD	授業科目名	担当講師	学期	午前/午後	必修/選択	授業形態	時間数
1年	ストーンセッティング1	富永 文	後期前半	午後	必修	実技	42
■授業内容 彫り留めを生かしたジュエリーをデザインして仕上げる							
■到達目標 彫り留めが出来るようになる							
■授業計画							
	月日	曜日	授業項目	内容	教室	備考	
1	9/18	水	進級制作デザイン②	進級制作、デザイン	5		
2	9/25	水	進級制作デザイン③	〃			
3	10/2	水	進級制作デザイン④	〃			
4	10/8	火	1、2年生企画プレゼン	進級制作企画プレゼンテーション	7 or ギャラリー		
5	10/16	水	ライン留め①	リング制作、銀板に石留め練習	5		
6	10/23	水	ライン留め④	石留め、磨き			
7	10/30	水	ライン留め⑤	〃			
8	11/6	水	制作②	進級制作			
9	11/13	水	制作④	〃			
10	11/20	水	制作⑥	〃			
11	11/27	水	制作⑧	〃			
12	12/4	水	制作⑩	〃			
13	12/11	水	制作⑫	〃			
14	12/18	水	制作⑭	〃			
■履修上の注意事項 石の紛失があるので、机周りを片付けておく							
■評価方法 仕組みの理解度、石留めの仕上がり、作品の質:60% / 授業態度、授業進度、提出時期:10% / レポート:30%							
■教科書、教材 プリント、雑誌等資料 / 銀板、銀線、石							
■授業時間以外の学習 見学、レポート、デザイン							
■教員紹介 山脇卒業後、ジュエリー企業2社に勤務後フリーランス クラフト、デザイン、サービス開発に携わる							
■その他 進級制作として制作するジュエリーに、難易度の高い石留め技法である彫り留めをし、彫り留めを主体にした進級制作ジュエリーを完成させる。 担当講師は、多くの石留めの経験値により、学生個々のデザインに適した石留めの環境と技法を指導し、完成度の高い石留めを目指す。							

JD	授業科目名	担当講師	学期	午前/午後	必修/選択	授業形態	時間数
1年	ジュエリー史研究	中村 佳世	前期	午後	必修	演習/講義	42
■授業内容 グループでテーマに添ったジュエリー史を研究し、発表する グループワークを経験し、物事の調べ方や資料の作成方法、プレゼン能力を習得する 講義によって詰め込まれる知識でなく、学生が能動的に「学ぶ」機会にする							
■到達目標 ジュエリー史の一端について詳しく知る リサーチ、考察、整理、資料制作、発表する力をつけ、グループ学習を学ぶ							
■授業計画							
	月日	曜日	授業項目	内容	教室	備考	
1	4/10	水	オリエンテーション	グループ分け、テーマ決定、進め方の確認	7		
2	4/15	月	研究テーマⅠ/調査①	調査			
3	4/22	月	研究テーマⅠ/調査②	〃			
4	5/13	月	研究テーマⅠ/考察・資料作成	グループで調査した内容を考察			
5	5/20	月	研究テーマⅠ/プレゼン準備	プレゼンの資料、内容の準備、リハーサル			
6	5/27	月	研究テーマⅠ/プレゼンテーション	チームごとに発表、講評			
7	6/3	月	研究テーマⅡ/調査	調査			
8	6/10	月	研究テーマⅡ/考察・資料作成	グループで調査した内容を考察			
9	6/17	月	研究テーマⅡ/プレゼン準備	プレゼンの資料、内容の準備、リハーサル			
10	6/24	月	研究テーマⅡ/プレゼンテーション	チームごとに発表、講評			
11	7/1	月	研究テーマⅢ/調査	調査			
12	7/8	月	研究テーマⅢ/考察・資料作成	グループで調査した内容を考察			
13	7/16	火	研究テーマⅢ/プレゼン準備	プレゼンの資料、内容の準備、リハーサル			
14	7/22	月	研究テーマⅢ/プレゼンテーション	チームごとに発表、講評			
■履修上の注意事項 パソコン持参 ゴールデンウィーク中に参考図書として「ヨーロッパの宝飾芸術」を読んでおく事							
■評価方法 プレゼンテーションの内容:60% / 授業態度+提出物など:40%							
■教科書、教材							
■授業時間以外の学習 展覧会、ショップで多くのジュエリーを観る							
■教員紹介 国内外の展覧会で作品発表する作家(ジュエリー、七宝)、大学、専門学校で講師							
■その他							

JD	授業科目名	担当講師	学期	午前/午後	必修/選択	授業形態	時間数
1年	ジュエリー造形1	遠藤 容子	前期	午前	必修	実技	42
■授業内容 ジュエリー制作に必要な基礎的な技術の練習、及びジュエリー制作							
■到達目標 「切る、削る、曲げる、付ける、磨く」事が確実に出来るようになる							
■授業計画							
	月日	曜日	授業項目	内容	教室	備考	
1	4/10	水	オリエンテーション	糸鋸練習	5		
2	4/24	水	工程説明	ロウ付け練習			
3	5/1	水	角線ネックレス①	丸環の作り方・ロウ付けの練習			
4	5/8	水	角線ネックレス②	〃			
5	5/15	水	角線ネックレス③	〃			
6	5/22	水	角線ネックレス④	〃			
7	5/29	水	角線ネックレス⑤	〃			
8	6/5	水	球形チャーカー①	抜き型、玉台の使い方、チャーカー部分の曲げ方を学ぶ			
9	6/12	水	球形チャーカー②	〃			
10	6/19	水	角線造形①	直角、寸法を正確に作る練習 角線で正方形を作る			
11	6/26	水	角線造形②	角線による直方体の造形			
12	7/3	火	角線造形③	正方形のパーツに柱を立て直方体にする			
13	7/10	水	角線造形④	〃			
14	7/17	水	角線造形⑤	〃			
■履修上の注意事項 制作の説明、注意点をよく聞く事							
■評価方法 技術力、完成度、理解度、計画性、レポート、授業態度などを合わせ、総合的に評価							
■教科書、教材 銅板、銀板、銀線							
■授業時間以外の学習 ジュエリーの金具等を見ておく事							
■教員紹介 山脇卒業後、ジュエリーブランド勤務、ギャラリー勤務、ジュエリー作家 基礎造形技術、製鎖技術を指導							
■その他							

JD	授業科目名	担当講師	学期	午前/午後	必修/選択	授業形態	時間数
1年	ジュエリー造形1	遠藤 容子	後期前半	午後	必修	実技	42
<p>■授業内容 様々な基礎的な技術を使って作品を制作する</p> <p>■到達目標 正確さを要する技術を習得する</p>							
■授業計画							
	月日	曜日	授業項目	内容	教室	備考	
1	9/18	水	造形演習Ⅰ①	折り曲げのブローチ	5		
2	9/25	水	造形演習Ⅰ②	〃			
3	10/2	水	造形演習Ⅰ③	〃			
4	10/9	水	造形演習Ⅰ④	〃			
5	10/16	水	造形演習Ⅰ⑤	〃			
6	10/23	水	造形演習Ⅰ⑥	〃			
7	10/30	水	造形演習Ⅰ⑦	〃			
8	11/6	水	造形演習Ⅱ①	ロケットのジュエリー			
9	11/13	水	造形演習Ⅱ②	〃			
10	11/20	水	造形演習Ⅱ③	〃			
11	11/27	水	造形演習Ⅱ④	〃			
12	12/4	水	造形演習Ⅱ⑤	〃			
13	12/11	水	造形演習Ⅱ⑥	〃			
14	12/18	水	造形演習Ⅱ⑦	〃			
<p>■履修上の注意事項 制作の説明、注意点をよく聞く事</p> <p>■評価方法 デザイン性、技術力、完成度、理解度、計画性、レポート、授業態度などを合わせ、総合的に評価</p> <p>■教科書、教材 銀板、銀線、洋白線、ブローチ金具、ステンレス芯、チェーン</p> <p>■授業時間以外の学習 クラフトやアートなど、様々なことに興味を持ち、よく見る事</p> <p>■教員紹介 山脇卒業後、ジュエリーブランド勤務、ギャラリー勤務、ジュエリー作家 基礎造形技術、製鎖技術を指導</p> <p>■その他</p>							

JD	授業科目名	担当講師	学期	午前/午後	必修/選択	授業形態	時間数
1年	オブジェ1	江原 真理子	後期前半	午後	必修	実技	42
<p>■授業内容</p> <p>ジュエリー制作にも応用可能な立体感覚や構造に関する考え方を学ぶ 銀製スプーン制作を通じて、型打ちや打ち延べの技法を学ぶ</p> <p>■到達目標</p> <p>型打ち作業工程を理解する</p>							
■授業計画							
	月日	曜日	授業項目	内容	教室	備考	
1	9/12	木	銀製スプーン①	デザイン	1・5		
2	9/24	火	銀製スプーン②	装飾部品の切り出し			
3	9/30	月	銀製スプーン③	装飾部品の整形			
4	10/7	月	銀製スプーン④	スプーン型で成型			
5	10/21	月	銀製スプーン⑤	柄とスプーン部分をロウ付け			
6	10/28	月	銀製スプーン⑥	仕上げ			
7	11/11	月	銀製スプーン⑦	仕上げ / 講評			
8	11/18	月	ジュエリースタンド①	デザイン			
9	11/25	月	ジュエリースタンド②	図面制作			
10	12/2	月	ジュエリースタンド③	型紙制作			
11	12/9	月	ジュエリースタンド④	制作			
12	12/16	月	ジュエリースタンド⑤	制作			
13	12/23	月	ジュエリースタンド⑥	仕上げ			
14	1/9	木	ジュエリースタンド⑦	講評			
<p>■履修上の注意事項</p> <p>薬品や機械を使用する為、安全に留意して取り組む事</p> <p>■評価方法</p> <p>作品提出及び、レポート 課題の完成度、出席率、理解度を合わせ、総合的に評価</p> <p>■教科書、教材</p> <p>■授業時間以外の学習</p> <p>デザイン、アイデアをストック（スケッチ、ドローイング、写真など）</p> <p>■教員紹介</p> <p>国内外の展覧会で作品発表する、ジュエリー作家</p> <p>■その他</p>							

JD	授業科目名	担当講師	学期	午前/午後	必修/選択	授業形態	時間数
1年	日本伝統彫金1	高橋 由希子	前期	午前	必修	実技	42
■授業内容 日本に伝統的に伝わる彫金の技法、使用する工具、素材について学ぶ							
■到達目標 鑿の作り方を理解する 鑿を使って直線、曲線、文字が彫れるようになる							
■授業計画							
	月日	曜日	授業項目	内容	教室	備考	
1	4/18	木	金槌作り	柄の調整	5		
2	4/25	木	彫り練習	銅板に片切り鑿と毛彫り鑿で彫りの練習			
3	5/2	木	ネームプレート①	直線、曲線練習			
4	5/9	木	ネームプレート②	〃			
5	5/16	木	ネームプレート③	平仮名、漢字練習			
6	5/23	木	ネームプレート④	〃			
7	6/6	木	ネームプレート⑤	〃			
8	6/13	木	ネームプレート⑥	英字、数字練習			
9	6/20	木	ネームプレート⑦	〃			
10	6/27	木	ネームプレート⑧	炭砥ぎ、仕上げ、ラッカー			
11	7/4	木	カフス①	イニシャル彫り			
12	7/11	木	カフス②	磨き、仕上げ			
13	7/18	木	鑿作り①	鑿の制作			
14	7/25	木	鑿作り②	〃			
■履修上の注意事項 各課題初日、デザインチェック 課題完成翌週に作品とレポートを提出							
■評価方法 課題の完成度、出席率、理解度を合わせ、総合的に評価							
■教科書、教材 プリント							
■授業時間以外の学習 デザイン、アイデアをストック(スケッチ、ドローイング、写真など) 練習							
■教員紹介 ジュエリー企業勤務ののち原型師として独立、彫金作家として活動							
■その他							

JD	授業科目名	担当講師	学期	午前/午後	必修/選択	授業形態	時間数
1年	日本伝統彫金1	高橋 由希子	後期前半	午前	必修	実技	42
■授業内容 日本に伝統的に伝わる彫金の技法、使用する工具、素材について学ぶ							
■到達目標 鑿各種の制作、砥ぎによるメンテナンスが出来るようになる							
■授業計画							
	月日	曜日	授業項目	内容	教室	備考	
1	9/19	木	彫金作品制作 I ①	デザイン	5		
2	9/26	木	彫金作品制作 I ②	制作			
3	10/3	木	彫金作品制作 I ③	〃			
4	10/10	木	彫金作品制作 I ④	〃			
5	10/17	木	彫金作品制作 I ⑤	〃			
6	10/24	木	彫金作品制作 I ⑥	〃			
7	10/31	木	彫金作品制作 I ⑦	講評			
8	11/7	木	彫金作品制作 II ①	デザイン			
9	11/14	木	彫金作品制作 II ②	制作			
10	11/21	木	彫金作品制作 II ③	〃			
11	11/28	木	彫金作品制作 II ④	〃			
12	12/5	木	彫金作品制作 II ⑤	〃			
13	12/12	木	彫金作品制作 II ⑥	〃			
14	12/19	木	彫金作品制作 II ⑦	講評			
■履修上の注意事項 各課題初日、デザインチェック 課題完成翌週に作品とレポートを提出							
■評価方法 課題の完成度、出席率、理解度を合わせ、総合的に評価							
■教科書、教材 プリント							
■授業時間以外の学習 デザイン、アイデアをストック(スケッチ、ドローイング、写真など) 練習							
■教員紹介 ジュエリー企業勤務ののち原型師として独立、彫金作家として活動							
■その他							

JD	授業科目名	担当講師	学期	午前/午後	必修/選択	授業形態	時間数
1年	レンダリング1	篠原 一郎	前期	午後	必修	演習/実技	42
■授業内容 ジュエリーデザインに必要な描写表現の基礎を学ぶ							
■到達目標 描くことを通して、観察力、造形力を養う 画材の特性を理解し、立体及び質感表現を修得する							
■授業計画							
	月日	曜日	授業項目	内容	教室	備考	
1	4/18	木	ガイダンス・鉛筆実習	授業の内容・到達目標の説明、スケジュールの確認	7		
2	4/25	木	鉛筆練習	鉛筆による立体表現方法を学ぶ			
3	5/2	木	鉛筆デッサン①	〃			
4	5/9	木	鉛筆デッサン②	〃			
5	5/16	木	鉛筆演習	鉛筆による質感表現方法を学ぶ			
6	5/23	木	鉛筆模写(石なし)①	〃			
7	6/6	木	鉛筆模写(石なし)②	〃			
8	6/13	木	鉛筆模写(石なし)③	〃			
9	6/20	木	着彩演習(地金)	着彩による立体・質感表現方法を学ぶ			
10	6/27	木	着彩演習(カット石・パール)	〃			
11	7/4	木	着彩模写①	〃			
12	7/11	木	着彩模写②	〃			
13	7/18	木	着彩模写③	〃			
14	7/25	木	手描き作品のデータ化	手描き作品をデータ化。簡単にきれいに見せるレタッチテクニックを身に付ける	9		
■履修上の注意事項 制作準備は最低限行っておくこと 提出期限を厳守すること							
■評価方法 提出課題作品ごとに授業時間や内容によって比率化し、100点満点に換算します 評価項目 = 課題作品・宿題提出物・授業姿勢・出席							
■教科書、教材							
■授業時間以外の学習 自己のイメージや身の回りのものをスケッチする、日々の積み重ねが大切							
■教員紹介 山脇美術専門学校 専任教員 中学・高等学校教諭一種免許状(美術・工芸)							
■その他							

JD	授業科目名	担当講師	学期	午前/午後	必修/選択	授業形態	時間数
1年	レンドリング1	後藤 晶代	後期前半	午後	必修	演習/実技	42
■授業内容 立体の表現に重きを置き、図法の基礎を学ぶ 図法の表現からプレゼンボードへの展開							
■到達目標 三面図、立体図(パース)について図法を理解、習得する 様々なデザインプロセスやアプローチ方法を実践しながら、理解・習得する プレゼンテーションボードの意味、その方法を習得する							
■授業計画							
	月日	曜日	授業項目	内容	教室	備考	
1	9/19	木	デザインプロセスにおけるスケッチ①	動物スケッチ、短時間でモチーフの形体をとらえる	7		
2	9/26	木	デザインプロセスにおけるスケッチ②	植物スケッチ短時間でモチーフの形体をとらえる			
3	10/3	木	デザインプロセスにおけるスケッチ③	デザインプロセスについて、様々なアプローチ方法の説明、アイデアスケッチへの展開			
4	10/10	木	デザインプロセスにおけるスケッチ④	簡単なプレゼンボードを制作	9		
5	10/17	木	デザイン図面/三面図①	実作品の三面図を描き起こす			
6	10/24	木	デザイン図面/三面図②	〃			
7	10/31	木	デザイン図面/三面図③	〃			
8	11/7	木	デザイン図面/立体図①	立体図・パースの説明、実作品を立体図に描き起こす(下書き)	7		
9	11/14	木	デザイン図面/立体図②	実作品を立体図に描き起こす(着彩)			
10	11/21	木	立体図のデータ化	手描きの立体図をデータ化し、よりきれいに修正をする	9		
11	11/28	木	デザイン図面のまとめ	3面図・立体図・表題を1枚の指示書として見やすいようにまとめる			
12	12/5	木	PC演習①	Illustrator&Photoshop操作説明			
13	12/12	木	PC演習②	Illustrator&Photoshop操作説明、1h=色彩について、配色の演習			
14	12/19	木	コンペ用デザイン画	ピンズコンテスト ブラッシュアップ(レンドリングCGと連動)			
■履修上の注意事項 制作準備は最低限行っておくこと 提出期限を厳守すること							
■評価方法 提出課題作品ごとに授業時間や内容によって比率化し、100点満点に換算します 評価項目 = 課題作品・宿題提出物・授業姿勢・出席							
■教科書、教材							
■授業時間以外の学習 自己のイメージや身の回りのものをスケッチする、日々の積み重ねが大切							
■教員紹介 後藤 晶代 / ジュエリーブランドに勤務(企画)後、自身のブランドを発表、コスメブランド(マーケティング企画)にも携わる							
■その他							

JD	授業科目名	担当講師	学期	午前/午後	必修/選択	授業形態	時間数
1年	レンダリングCG1	桐井・鷹尾	前期	午後	必修	演習	42
■授業内容 コンピュータを使用したレンダリング(完成予想図)の制作に必要な基礎知識を学ぶ							
■到達目標 Illustratorの基本操作を通して、CG制作を行うために必要な基礎知識を習得する							
■授業計画							
	月日	曜日	授業項目	内容	教室	備考	
1	4/12	金	オリエンテーション	授業の概要、Mac OSの基本操作、コンピュータ環境の説明	9	桐井 英明	
2	4/15	月	コンピューターの説明	演習 オリジナルアイコン制作(Photoshop)、Gmailアドレス・Adobe ID取得			
3	4/22	月	Illustratorの基本説明①	基本描画ツールを使用した演習(長方形、楕円形ツール、塗り、線、グラデーション)			
4	5/13	月	Illustratorの基本説明②	基本描画ツールを使用した演習(選択ツール、ダイレクト選択ツール)			
5	5/20	月	Illustratorの基本説明③	基本描画ツールを使用した演習(パスファインダ、レイヤー)			
6	5/27	月	リングを描く	円柱・チューブ、厚みのあるリング			
7	5/28	月	カット石を描く①	ラウンドカット・オーバルカット・マーキスカット・ベアシェーブカット			
8	6/3	月	カット石を描く②	ブリリントカット、ファンシーカット			
9	6/4	月	チェーンを描く	パターンブラシ			
10	6/10	月	オブジェを描く①	デザイン画をスキャナで取り込み、ペンツールを使ってトレース			
11	6/17	月	オブジェを描く②	〃			
12	6/28	金	カメラ①	一眼レフの使い方を学ぶ	7	鷹尾 茂	
13	6/28	金	カメラ②	撮影実習			
14	7/8	月	オブジェを描く③	デザイン画をスキャナで取り込み、ペンツールを使ってトレース	9	桐井 英明	
■履修上の注意事項 学生持参用具 MacBook一式・筆記用具・ノートを忘れないこと							
■評価方法 課題、出席率、授業態度などで総合的に判断します							
■教科書、教材 授業内でプリント・素材サンプルデータを配布します							
■授業時間以外の学習 時間があれば、ソフトを触る							
■教員紹介 桐井 英明 / 山脇美術専門学校 専任教員 鷹尾 茂 / フリーランスカメラマン							
■その他 授業内容、演習については変更になる場合があります							

JD	授業科目名	担当講師	学期	午前/午後	必修/選択	授業形態	時間数
1年	レンダリングCG1	複数講師	後期前半	午前	必修	演習	42
■授業内容 コンピュータを使用したレンダリング(完成予想図)の制作に必要な基礎知識を学ぶ							
■到達目標 前期のIllustratorの基本操作を通して、CG制作を行うために必要な基礎知識を習得する							
■授業計画							
	月日	曜日	授業項目	内容	教室	備考	
1	9/12	木	前期のフィードバック	PhotoshopとIllustratorとの連動(データ書き出し)	9	桐井 英明	
2	9/24	火	Photoshopの基本説明①	基本ツールを使用した演習(ブラシツール)			
3	10/7	月	Photoshopの基本説明②	基本ツールを使用した演習(レイヤー・調整レイヤー・レイヤー効果)			
4	10/21	月	Photoshopの基本説明③	基本ツールを使用した演習(選択範囲・アルファチャンネル・マスク・クイックマスク)			
5	10/25	金	カメラ③	スタジオセッティング、ライティング	7	鷹尾 茂	
6	10/25	金	カメラ④	接写、撮影実習			
7	11/11	月	Photoshopの基本説明④	基本ツールを使用した演習(画像補正・画像加工)・RAWデータの扱い方	9	桐井 英明	
8	11/15	金	カメラ⑤	接写、撮影実習			
9	11/15	金	カメラ⑥	〃	7	鷹尾 茂	
10	12/2	月	Photoshopの基本説明⑤	基本ツールを使用した演習(画像補正・画像加工)・RAWデータの扱い方			
11	12/9	月	Photoshopの基本説明⑥	撮影した画像を補正する	9	桐井 英明	
12	12/16	月	Photoshopの表現演習①	基本ツールを使用し、表現方法を体得する			
13	12/23	月	Photoshopの表現演習②	〃			
14	1/9	木	Photoshopの表現演習③	〃			
■履修上の注意事項 学生持参用具 MacBook一式・筆記用具・ノートを忘れないこと							
■評価方法 課題、出席率、授業態度などで総合的に判断します							
■教科書、教材 授業内でプリント・素材サンプルデータを配布します							
■授業時間以外の学習 時間があれば、ソフトを触る							
■教員紹介 桐井 英明 / 山脇美術専門学校 専任教員 篠原 一郎 / 山脇美術専門学校 専任教員 鷹尾 茂 / フリーランスカメラマン							
■その他 授業内容、演習については変更になる場合があります							

JD	授業科目名	担当講師	学期	午前/午後	必修/選択	授業形態	時間数
1年	集中講義1	複数講師	前期	午前	必修	実技/講義	42
■授業内容 七宝、宝石研磨、キャストのテクニックを学ぶ							
■到達目標 ジュエリー制作にまつわる様々な技術を体験する 素材知識、商品知識を学ぶ							
■授業計画							
	月日	曜日	授業項目	内容		教室	備考
1	4/16	火	七宝①	説明、デザイン		1・5	中安 麗
2	4/23	火	七宝②	制作			
3	4/30	火	七宝③	焼成			
4	5/7	火	七宝④	"			
5	5/14	火	七宝⑤	"			
6	5/21	火	七宝⑥	焼成、枠計画			
7	6/24	月	宝石研磨①	説明、石取り、穴あけ		5	深澤 陽一
8	6/25	火	宝石研磨②	研磨			
9	6/25	火	宝石研磨③	"			
10	7/1	月	宝石研磨④	"			
11	7/2	火	宝石研磨⑤	カービング			
12	7/2	火	宝石研磨⑥	"			
13	7/9	火	キャスト①	説明、デザイン、WAX加工		5	西 由三
14	7/23	火	キャスト②	WAXチェック			
■履修上の注意事項 危険を伴う授業があります、講師の指示をよく聞きましょう							
■評価方法 制作物、レポートの提出、授業態度などを総合的に評価							
■教科書、教材 各講座の講師が指示します							
■授業時間以外の学習							
■教員紹介 中安 麗 / 作家(七宝、ジュエリー) 深澤 陽一 / 宝石研磨士、山梨県ジュエリーマスター 西 由三 / 作家(金工、鋳造)							
■その他							

JD	授業科目名	担当講師	学期	午前/午後	必修/選択	授業形態	時間数
1年	集中講義1	複数講師	後期前半	午前	必修	実技/講義	42
■授業内容 七宝、キャストリング、ロー型、ガラス実習、宝石学を学ぶ							
■到達目標 ジュエリー制作にまつわる様々な技術を体験する 素材知識、商品知識を学ぶ							
■授業計画							
	月日	曜日	授業項目	内容	教室	備考	
1	9/17	火	キャスト③	ツリー説明、ツリーを立てる	5	西 由三	
2	9/30	月	キャスト④	埋没	1・5	中安 麗	
3	10/1	火	キャスト⑤	鑄込み(終日)	5	西 由三	
4	10/1	火	キャスト⑥	〃			
5	10/15	火	七宝⑦	本体仕上げ、ジュエリーにまとめる			
6	10/22	火	七宝⑧	ジュエリーにまとめる	1・5	中安 麗	
7	11/5	火	キャスト⑦	計量、磨き	5	西 由三	
8	11/12	火	ロー型①	蜜蝋の作り方、扱い、体験	5	菅野 康子	
9	11/19	火	ロー型②	ロー型制作			
10	11/26	火	ガラス実習①	説明、玉を作る、水玉柄	5	沼田 恵美子	
11	12/3	火	ガラス実習②	ハート柄			
12	12/10	火	ガラス実習③	立体花玉、リング用の石膏準備作業			
13	12/17	火	ガラス実習④	リング、雪だるま・ツリー			
14	12/24	火	宝石学①	宝石の基礎知識、ダイヤモンド	7	山崎 忠秋	
■履修上の注意事項 危険を伴う授業があります、講師の指示をよく聞きましょう							
■評価方法 制作物、レポートの提出、授業態度などを総合的に評価							
■教科書、教材 各講座による ジュエリーコーディネーター検定3級テキスト(宝石学)							
■授業時間以外の学習							
■教員紹介 西 由三 / 作家(金工、鑄造) 中安 麗 / 作家(七宝、ジュエリー) 菅野 康子 / ジュエリー作家 沼田 恵美子 / とんぼ玉作家 山崎 忠秋 / ジュエリー企業							
■その他							

JD	授業科目名	担当講師	学期	午前/午後	必修/選択	授業形態	時間数																																																																																																
1年	レポートファイル制作・見学1	杉山 千尋	前期	午後	必修	演習/実技	42																																																																																																
<p>■授業内容</p> <p>授業で制作した課題についてレポートを作成する、見学、授業フォロー 就活に役立つポートフォリオ作り、就活フォロー 山脇祭準備</p> <p>■到達目標</p> <p>レポートを書く習慣をつける レポートの書き方や見学の記録について学ぶ</p> <p>■授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>月日</th> <th>曜日</th> <th>授業項目</th> <th>内容</th> <th>教室</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>4/17</td> <td>水</td> <td>ガイダンス</td> <td>ガイダンス</td> <td rowspan="5">5</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>4/19</td> <td>金</td> <td>制作</td> <td>各授業課題のフォローアップ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>5/10</td> <td>金</td> <td>制作</td> <td>〃</td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>5/17</td> <td>金</td> <td>制作</td> <td>〃</td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>6/7</td> <td>金</td> <td>見学①</td> <td>日本金工展の見学</td> <td></td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>6/14</td> <td>金</td> <td>卒業生懇談会①</td> <td>従事している仕事や就職活動について</td> <td>7</td> <td></td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>7/5</td> <td>金</td> <td>制作</td> <td>各授業課題のフォローアップ</td> <td rowspan="4">5</td> <td></td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>7/12</td> <td>金</td> <td>見学②</td> <td>ジュエリー展、マーケットリサーチなどの見学</td> <td></td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>7/19</td> <td>金</td> <td>制作</td> <td>各授業課題のフォローアップ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>7/22</td> <td>月</td> <td>制作</td> <td>〃</td> <td></td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>7/24</td> <td>水</td> <td>企業連携授業</td> <td>「知的財産権入門講座」</td> <td>7</td> <td></td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>7/26</td> <td>金</td> <td>制作</td> <td>各授業課題のフォローアップ</td> <td rowspan="3">5</td> <td></td> </tr> <tr> <td>13</td> <td>7/29</td> <td>月</td> <td>制作</td> <td>〃</td> <td></td> </tr> <tr> <td>14</td> <td>1/17</td> <td>金</td> <td>制作</td> <td>〃</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>■履修上の注意事項</p> <p>■評価方法</p> <p>見学のレポート、授業態度、出席率などを合わせ、総合的に評価</p> <p>■教科書、教材</p> <p>■授業時間以外の学習</p> <p>■教員紹介</p> <p>山脇卒業後、ジュエリー企業で勤務、作家活動(鍛金・ジュエリー) 山脇美術専門学校 専任教員</p> <p>■その他</p> <p>12コマ～14コマは就職講座1との授業入れ替え分</p>									月日	曜日	授業項目	内容	教室	備考	1	4/17	水	ガイダンス	ガイダンス	5		2	4/19	金	制作	各授業課題のフォローアップ		3	5/10	金	制作	〃		4	5/17	金	制作	〃		5	6/7	金	見学①	日本金工展の見学		6	6/14	金	卒業生懇談会①	従事している仕事や就職活動について	7		7	7/5	金	制作	各授業課題のフォローアップ	5		8	7/12	金	見学②	ジュエリー展、マーケットリサーチなどの見学		9	7/19	金	制作	各授業課題のフォローアップ		10	7/22	月	制作	〃		11	7/24	水	企業連携授業	「知的財産権入門講座」	7		12	7/26	金	制作	各授業課題のフォローアップ	5		13	7/29	月	制作	〃		14	1/17	金	制作	〃	
	月日	曜日	授業項目	内容	教室	備考																																																																																																	
1	4/17	水	ガイダンス	ガイダンス	5																																																																																																		
2	4/19	金	制作	各授業課題のフォローアップ																																																																																																			
3	5/10	金	制作	〃																																																																																																			
4	5/17	金	制作	〃																																																																																																			
5	6/7	金	見学①	日本金工展の見学																																																																																																			
6	6/14	金	卒業生懇談会①	従事している仕事や就職活動について	7																																																																																																		
7	7/5	金	制作	各授業課題のフォローアップ	5																																																																																																		
8	7/12	金	見学②	ジュエリー展、マーケットリサーチなどの見学																																																																																																			
9	7/19	金	制作	各授業課題のフォローアップ																																																																																																			
10	7/22	月	制作	〃																																																																																																			
11	7/24	水	企業連携授業	「知的財産権入門講座」	7																																																																																																		
12	7/26	金	制作	各授業課題のフォローアップ	5																																																																																																		
13	7/29	月	制作	〃																																																																																																			
14	1/17	金	制作	〃																																																																																																			

JD	授業科目名	担当講師	学期	午前/午後	必修/選択	授業形態	時間数																																																																																														
1年	レポートファイル制作・見学1	杉山 千尋	後期前半	午後	必修	演習/実技	42																																																																																														
<p>■授業内容</p> <p>授業で制作した課題についてレポートを作成する、見学、授業フォロー 就活に役立つポートフォリオ作り、就活フォロー</p> <p>■到達目標</p> <p>レポートを書く習慣をつける レポートの書き方や見学の記録について学ぶ</p> <p>■授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>月日</th> <th>曜日</th> <th>授業項目</th> <th>内容</th> <th>教室</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>9/13</td> <td>金</td> <td>制作</td> <td>各授業課題のフォローアップ</td> <td rowspan="6">5</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>9/20</td> <td>金</td> <td>制作</td> <td>〃</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>10/4</td> <td>金</td> <td>見学④</td> <td>七宝展の見学</td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>10/28</td> <td>月</td> <td>制作</td> <td>各授業課題のフォローアップ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>11/8</td> <td>金</td> <td>制作</td> <td>〃</td> <td></td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>11/25</td> <td>月</td> <td>制作</td> <td>〃</td> <td></td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>11/29</td> <td>金</td> <td>卒業生懇談会②</td> <td>従事している仕事や就職活動について</td> <td>7</td> <td></td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>12/13</td> <td>金</td> <td>制作</td> <td>各授業課題のフォローアップ</td> <td rowspan="8">5</td> <td></td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>12/20</td> <td>金</td> <td>大掃除</td> <td>大掃除</td> <td></td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>1/10</td> <td>金</td> <td>見学⑤</td> <td>国際宝飾展の見学</td> <td></td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>1/24</td> <td>金</td> <td>制作</td> <td>各授業課題のフォローアップ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>1/31</td> <td>金</td> <td>制作</td> <td>〃</td> <td></td> </tr> <tr> <td>13</td> <td>1/31</td> <td>金</td> <td>制作</td> <td>〃</td> <td></td> </tr> <tr> <td>14</td> <td>2/14</td> <td>金</td> <td>制作</td> <td>〃</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>■履修上の注意事項</p> <p>■評価方法</p> <p>見学のレポート、授業態度、出席率などを合わせ、総合的に評価</p> <p>■教科書、教材</p> <p>■授業時間以外の学習</p> <p>■教員紹介</p> <p>山脇卒業後、ジュエリー企業で勤務、作家活動(鍛金・ジュエリー) 山脇美術専門学校 専任教員</p> <p>■その他</p> <p>11コマは3年生企画プレゼンテーションとの授業入れ替え分 12コマ～14コマは就職講座1との授業入れ替え分</p>									月日	曜日	授業項目	内容	教室	備考	1	9/13	金	制作	各授業課題のフォローアップ	5		2	9/20	金	制作	〃		3	10/4	金	見学④	七宝展の見学		4	10/28	月	制作	各授業課題のフォローアップ		5	11/8	金	制作	〃		6	11/25	月	制作	〃		7	11/29	金	卒業生懇談会②	従事している仕事や就職活動について	7		8	12/13	金	制作	各授業課題のフォローアップ	5		9	12/20	金	大掃除	大掃除		10	1/10	金	見学⑤	国際宝飾展の見学		11	1/24	金	制作	各授業課題のフォローアップ		12	1/31	金	制作	〃		13	1/31	金	制作	〃		14	2/14	金	制作	〃	
	月日	曜日	授業項目	内容	教室	備考																																																																																															
1	9/13	金	制作	各授業課題のフォローアップ	5																																																																																																
2	9/20	金	制作	〃																																																																																																	
3	10/4	金	見学④	七宝展の見学																																																																																																	
4	10/28	月	制作	各授業課題のフォローアップ																																																																																																	
5	11/8	金	制作	〃																																																																																																	
6	11/25	月	制作	〃																																																																																																	
7	11/29	金	卒業生懇談会②	従事している仕事や就職活動について	7																																																																																																
8	12/13	金	制作	各授業課題のフォローアップ	5																																																																																																
9	12/20	金	大掃除	大掃除																																																																																																	
10	1/10	金	見学⑤	国際宝飾展の見学																																																																																																	
11	1/24	金	制作	各授業課題のフォローアップ																																																																																																	
12	1/31	金	制作	〃																																																																																																	
13	1/31	金	制作	〃																																																																																																	
14	2/14	金	制作	〃																																																																																																	

JD	授業科目名	担当講師	学期	午前/午後	必修/選択	授業形態	時間数
1年	研究制作1	杉山 千尋	前期	午前	必修	実技/講義	42
■授業内容 授業課題の予習復習、自主制作、見学、就職活動準備							
■到達目標 毎回の授業の目的を確認し、計画的に作業する							
■授業計画							
	月日	曜日	授業項目	内容	教室	備考	
1	4/12	金	研究制作①	ガイダンス	5		
2	4/19	金	研究制作②	工具、道具の使い方			
3	4/26	金	研究制作③	各授業課題のフォローアップ			
4	5/10	金	研究制作④/消防訓練	山脇祭ミーティングなど			
5	5/17	金	研究制作⑤	各授業課題のフォローアップ			
6	5/24	金	研究制作⑥	〃			
7	6/7	金	研究制作⑦	〃			
8	6/14	金	研究制作⑧/企業連携授業	パール「オールノット実習」			
9	6/21	金	研究制作⑨	各授業課題のフォローアップ			
10	7/5	金	研究制作⑩	〃			
11	7/12	金	研究制作⑪	〃			
12	7/16	火	研究制作⑫	〃			
13	7/19	金	研究制作⑬	〃			
14	7/24	水	研究制作⑭	〃			
■履修上の注意事項							
■評価方法 授業態度、出席率、取り組み姿勢を合わせ、総合的に評価							
■教科書、教材							
■授業時間以外の学習							
■教員紹介 山脇卒業後、ジュエリー企業で勤務、作家活動(鍛金・ジュエリー) 山脇美術専門学校 専任教員							
■その他							

JD	授業科目名	担当講師	学期	午前/午後	必修/選択	授業形態	時間数
1年	研究制作1	杉山・山崎	後期前半	午前	必修	実技/講義	42
■授業内容 授業課題の予習復習、自主制作、見学、就職活動準備							
■到達目標 毎回の授業の目的を確認し、計画的に作業する							
■授業計画							
	月日	曜日	授業項目	内容	教室	備考	
1	9/13	金	研究制作①	進級制作プランニング	5	杉山 千尋	
2	9/20	金	研究制作②	デザイン			
3	9/27	金	研究制作③	〃			
4	10/4	金	研究制作④	資材決定、発注			
5	10/29	火	研究制作⑤	〃			
6	11/8	金	研究制作⑥	型紙			
7	11/18	月	研究制作⑦	〃			
8	1/10	金	研究制作⑧	制作			
9	1/24	金	研究制作⑨	〃			
10	1/14	火	研究制作/宝石学②	講義	7	山崎 忠秋	
11	1/21	火	研究制作/宝石学③	〃			
12	1/28	火	研究制作/宝石学④	〃			
13	2/4	火	研究制作/宝石学⑤	〃			
14	2/18	火	研究制作/宝石学⑥	〃			
■履修上の注意事項							
■評価方法 授業態度、出席率、取り組み姿勢を合わせ、総合的に評価							
■教科書、教材 ジュエリーコーディネーター3級テキスト							
■授業時間以外の学習							
■教員紹介 杉山 千尋 / 山脇卒業後、ジュエリー企業で勤務、作家活動(鍛金・ジュエリー) 山脇美術専門学校 専任教員 山崎 忠秋 / ジュエリー企業で25年勤務後、呉服屋を継承し、呉服とジュエリーを取り扱う							
■その他 12コマは3年生企画プレゼンテーションとの授業入れ替え分							

JD	授業科目名	担当講師	学期	午前/午後	必修/選択	授業形態	時間数																																				
1年	進級制作	複数講師	後期後半	午前・午後	必修	実技	123																																				
<p>■授業内容 進級制作として、1年間で学んだ内容の集大成となる大作に取り組む</p> <p>■到達目標 表現したい世界観を適した技法を用い、計画的に完成度高く仕上げる</p>																																											
<p>■授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>授業回数</th> <th>時間数</th> <th>授業項目</th> <th>内容</th> <th>教室</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 2</td> <td>6</td> <td>企画プレゼン</td> <td>・進級制作作品のデザインプレゼンテーション</td> <td>7 or ギャラリー</td> <td>複数講師</td> </tr> <tr> <td>3 26</td> <td>72</td> <td>進級制作</td> <td>・作品制作 ・展示計画 ・合評会準備</td> <td>5</td> <td>担当講師</td> </tr> <tr> <td>27 33</td> <td>21</td> <td>進級制作プレゼンボード</td> <td>・作品のデザイン画をPCで描き、ポスターを制作する</td> <td>9</td> <td>担当講師</td> </tr> <tr> <td>34 37</td> <td>12</td> <td>合評会</td> <td>・作品のプレゼンテーション ・講師による講評</td> <td>ギャラリー</td> <td>複数講師</td> </tr> <tr> <td>38 41</td> <td>12</td> <td>進級制作ブラッシュアップ</td> <td>・合評会での講師による講評を受け、完成度を高める ・卒業進級制作作品展のための作品展示準備</td> <td>5</td> <td>担当講師</td> </tr> </tbody> </table>								授業回数	時間数	授業項目	内容	教室	備考	1 2	6	企画プレゼン	・進級制作作品のデザインプレゼンテーション	7 or ギャラリー	複数講師	3 26	72	進級制作	・作品制作 ・展示計画 ・合評会準備	5	担当講師	27 33	21	進級制作プレゼンボード	・作品のデザイン画をPCで描き、ポスターを制作する	9	担当講師	34 37	12	合評会	・作品のプレゼンテーション ・講師による講評	ギャラリー	複数講師	38 41	12	進級制作ブラッシュアップ	・合評会での講師による講評を受け、完成度を高める ・卒業進級制作作品展のための作品展示準備	5	担当講師
授業回数	時間数	授業項目	内容	教室	備考																																						
1 2	6	企画プレゼン	・進級制作作品のデザインプレゼンテーション	7 or ギャラリー	複数講師																																						
3 26	72	進級制作	・作品制作 ・展示計画 ・合評会準備	5	担当講師																																						
27 33	21	進級制作プレゼンボード	・作品のデザイン画をPCで描き、ポスターを制作する	9	担当講師																																						
34 37	12	合評会	・作品のプレゼンテーション ・講師による講評	ギャラリー	複数講師																																						
38 41	12	進級制作ブラッシュアップ	・合評会での講師による講評を受け、完成度を高める ・卒業進級制作作品展のための作品展示準備	5	担当講師																																						
<p>■履修上の注意事項 多くの人に意見を頂く</p> <p>■評価方法 理解度＋作品の完成度、授業態度＋授業進度＋提出期限、プレゼンテーション＋レポート</p> <p>■教科書、教材</p> <p>■授業時間以外の学習 国内外のジュエリー作品、工芸品、又はそれらの情報に触れる機会を多く持つ</p> <p>■教員紹介 複数講師により、他の授業の教員紹介に準ずる</p> <p>■その他</p>																																											

Jewelry Design_2

JD	授業科目名	担当講師	学期	午前/午後	必修/選択	授業形態	時間数
2年	ジュエリーデザイン2	中村 佳世	前期	午前	必修	実技	42
■授業内容 石座の仕組み、ジュエリーと身体との関係、ジュエリーの構造を理解しジュエリーを制作する							
■到達目標 テーマに沿ってジュエリーをプランニング、制作する							
■授業計画							
	月日	曜日	授業項目	内容	教室	備考	
1	4/16	火	シャトン①	爪を作る ラウンド①	4		
2	4/23	火	シャトン③	ファンシーカット①			
3	4/30	火	シャトン⑤	ファンシーカット③			
4	5/7	火	爪留めジュエリー①	デザイン、制作			
5	5/14	火	爪留めジュエリー③	制作			
6	5/21	火	爪留めジュエリー⑤	〃			
7	5/28	火	爪留めジュエリー⑦	石留め			
8	6/4	火	爪留めジュエリー⑨	講評			
9	6/11	火	パヴェ留めジュエリー①	デザイン決定			
10	6/18	火	パヴェ留めジュエリー③	制作、石留め練習			
11	6/25	火	パヴェ留めジュエリー④	〃			
12	7/2	火	パヴェ留めジュエリー⑤	〃			
13	7/9	火	パヴェ留めジュエリー⑦	〃			
14	7/23	火	パヴェ留めジュエリー⑨	石留め、仕上げ			
■履修上の注意事項 デザインチェック、制作行程チェック 課題完成翌週作品とレポートを提出 石の紛失があるので、机周りを片付けておく							
■評価方法 課題の完成度、出席率、理解度を合わせ、総合的に評価							
■教科書、教材 プリント、雑誌等資料 / 銀、石							
■授業時間以外の学習 デザイン、アイデアをストック(スケッチ、ドローイング、写真など)、リサーチ、展示会の見学							
■教員紹介 国内外の展覧会で作品発表する作家(ジュエリー、七宝)、大学、専門学校で講師							
■その他							

JD	授業科目名	担当講師	学期	午前/午後	必修/選択	授業形態	時間数
2年	ジュエリーデザイン2	中村 佳世	後期前半	午後	必修	実技	42
■授業内容 進級制作として、1、2年次に学んだことの集大成となる独創的な完成度の高いジュエリーを制作する							
■到達目標 オリジナルのジュエリーをプランニング、試作、制作し、完成させる							
■授業計画							
	月日	曜日	授業項目	内容	教室	備考	
1	9/17	火	進級制作デザイン①	プランニング	4		
2	10/1	火	進級制作デザイン②	デザイン、試作			
3	10/8	火	1、2年生企画プレゼン	進級制作企画プレゼンテーション	7 or ギャラリー		
4	10/15	火	進級制作デザイン③	デザイン、試作	4		
5	10/22	火	進級制作制作①	進級制作の材料決定			
6	10/29	火	進級制作制作②	進級制作の制作			
7	11/5	火	進級制作制作③	〃			
8	11/12	火	進級制作制作④	〃			
9	11/19	火	進級制作制作⑤	〃			
10	11/26	火	進級制作制作⑥	〃			
11	12/3	火	進級制作制作⑦	〃			
12	12/10	火	進級制作制作⑧	〃			
13	12/17	火	進級制作制作⑨	〃			
14	12/24	火	進級制作制作⑩	〃			
■履修上の注意事項 多くの人に意見を頂く							
■評価方法 課題の完成度、出席率、理解度を合わせ、総合的に評価							
■教科書、教材 プリント、雑誌等資料 / 銀、石							
■授業時間以外の学習 国内外のジュエリー作品、工芸品、又はそれらが載る書籍に多く触れる機会を持つ							
■教員紹介 国内外の展覧会で作品発表する作家(ジュエリー、七宝)、大学、専門学校で講師							
■その他							

JD	授業科目名	担当講師	学期	午前/午後	必修/選択	授業形態	時間数
2年	ストーンセッティング2	田村 晴子	前期	午前	必修	実技	42
■授業内容 石座の仕組みを理解し、実際に制作し石留めする パヴェ留めの設定をし練習する、実際に作ったジュエリーに留める							
■到達目標 爪留めが出来る パヴェ留めが出来る							
■授業計画							
	月日	曜日	授業項目	内容	教室	備考	
1	4/16	火	シャトン②	爪を作る ラウンド②	4		
2	4/23	火	シャトン④	ファンシーカット②			
3	4/30	火	シャトン⑥	ファンシーカット④			
4	5/7	火	爪留めジュエリー②	デザイン			
5	5/14	火	爪留めジュエリー④	制作			
6	5/21	火	爪留めジュエリー⑥	〃			
7	5/28	火	爪留めジュエリー⑧	〃			
8	6/4	火	爪留めジュエリー⑩	石留め、仕上げ			
9	6/11	火	パヴェ留めジュエリー②	講義、デザイン、説明、銅板に練習、デザインを考える			
10	6/18	火	技能演習①	技能検定3級課題リングの制作			
11	6/25	火	技能演習②	練習			
12	7/2	火	パヴェ留めジュエリー⑦	制作、石留め練習			
13	7/9	火	パヴェ留めジュエリー⑨	石留め、仕上げ			
14	7/23	火	パヴェ留めジュエリー⑩	講評			
■履修上の注意事項 石の紛失があるので、机周りを片付けておく							
■評価方法 仕組みの理解度、石留めの仕上がり、作品の質:60% / 授業態度、授業進度、提出時期:10% / レポート:30%							
■教科書、教材 プリント、雑誌等資料 / 銀、石							
■授業時間以外の学習 見学、レポート、デザイン							
■教員紹介 ジュエリーブランド勤務後、フィレンツェにてフィレンツェ彫りを修学 帰国後自身のブランドを発表、作家活動(彫金、ジュエリー)							
■その他 常日頃から銅板に練習しましょう							

JD	授業科目名	担当講師	学期	午前/午後	必修/選択	授業形態	時間数
2年	ストーンセッティング2	田村 晴子	後期前半	午前	必修	実技	42
■授業内容 貴金属装身具製作技能検定3級試験課題リングの演習 進級制作として、1、2年次に学んだことの集大成となる独創的な完成度の高いジュエリーを制作する							
■到達目標 試験課題リングを制作し時間内に完成させる オリジナルのジュエリーをプランニング、試作、制作し、完成させる							
■授業計画							
	月日	曜日	授業項目	内容	教室	備考	
1	9/17	火	技能演習③	技能検定3級課題リングの制作	4		
2	10/1	火	技能演習④	テスト(時間を計測しながら制作)			
3	10/8	火	1、2年生企画プレゼン	進級制作企画プレゼンテーション	7 or ギャラリー		
4	10/15	火	進級制作制作①	進級制作の制作	4		
5	10/22	火	進級制作制作②	〃			
6	10/29	火	進級制作制作③	〃			
7	11/5	火	進級制作制作④	〃			
8	11/12	火	進級制作制作⑤	〃			
9	11/19	火	進級制作制作⑥	〃			
10	11/26	火	進級制作制作⑦	〃			
11	12/3	火	進級制作制作⑧	〃			
12	12/10	火	進級制作制作⑨	〃			
13	12/17	火	進級制作制作⑩	〃			
14	12/24	火	進級制作制作⑪	〃			
■履修上の注意事項 ■評価方法 仕組みの理解度、石留めの仕上がり、作品の質:60% / 授業態度、授業進度、提出時期:10% / レポート:30%							
■教科書、教材 技能検定3級テキスト							
■授業時間以外の学習 国内外のジュエリー作品、工芸品、又はそれらが載る書籍に多く触れる機会を持つ							
■教員紹介 ジュエリーブランド勤務後、フィレンツェにてフィレンツェ彫りを修学 帰国後自身のブランドを発表、作家活動(彫金、ジュエリー)							
■その他 常日頃から時間を意識しながら練習しましょう							

JD	授業科目名	担当講師	学期	午前/午後	必修/選択	授業形態	時間数
2年	研究制作2	中村 佳世	前期	午前	必修	実技	42
■授業内容 授業課題の予習復習、自主制作、見学、就職活動準備							
■到達目標 毎回の授業の目的を確認し、計画的に作業する 授業課題の予習復習、自主制作、見学、就職活動準備							
■授業計画							
	月日	曜日	授業項目	内容	教室	備考	
1	4/12	金	研究制作①	ガイダンス	4		
2	4/19	金	研究制作②	各授業課題のフォローアップ			
3	4/26	金	研究制作③	〃			
4	5/10	金	研究制作④/消防訓練	山脇祭ミーティングなど			
5	5/17	金	研究制作⑤	各授業課題のフォローアップ			
6	5/24	金	研究制作⑥/企業連携授業	「工場見学」			
7	6/6	木	研究制作⑦	各授業課題のフォローアップ			
8	6/7	金	研究制作⑧	〃			
9	6/20	木	研究制作⑨	〃			
10	6/26	水	研究制作⑩	〃			
11	6/26	水	研究制作⑪	〃			
12	6/27	木	研究制作⑫	〃			
13	6/28	金	研究制作⑬	〃			
14	7/24	水	研究制作⑭	〃			
■履修上の注意事項 ■評価方法 授業態度、出席率、取り組み姿勢を合わせ、総合的に評価							
■教科書、教材							
■授業時間以外の学習							
■教員紹介 国内外の展覧会で作品発表する作家(ジュエリー、七宝)、大学、専門学校で講師							
■その他							

JD	授業科目名	担当講師	学期	午前/午後	必修/選択	授業形態	時間数
2年	研究制作2	中村 佳世	後期前半	午前	必修	実技	42
■授業内容 授業課題の予習復習、自主制作、見学、就職活動準備							
■到達目標 毎回の授業の目的を確認し、計画的に作業する 授業課題の予習復習、自主制作、見学、就職活動準備							
■授業計画							
	月日	曜日	授業項目	内容	教室	備考	
1	9/13	金	研究制作①	進級制作プランニング	4		
2	9/20	金	研究制作②	デザイン			
3	9/27	金	研究制作③	〃			
4	10/4	金	研究制作④	資材決定、発注			
5	10/25	金	研究制作⑤	〃			
6	11/8	金	研究制作⑥	型紙			
7	11/15	金	研究制作⑦	〃			
8	11/22	金	研究制作⑧	制作			
9	11/29	金	研究制作⑨	〃			
10	12/6	金	研究制作⑩	〃			
11	12/13	金	研究制作⑪	〃			
12	12/20	金	研究制作⑫	〃			
13	1/10	金	研究制作⑬	〃			
14	1/17	金	研究制作⑭	〃			
■履修上の注意事項 ■評価方法 授業態度、出席率、取り組み姿勢を合わせ、総合的に評価							
■教科書、教材							
■授業時間以外の学習							
■教員紹介 国内外の展覧会で作品発表する作家(ジュエリー、七宝)、大学、専門学校で講師							
■その他 14コマは3年生企画プレゼンテーションとの授業入れ替え分							

JD	授業科目名	担当講師	学期	午前/午後	必修/選択	授業形態	時間数																																																																																												
2年	ジュエリービジネス概論	恩田 貴之	後期前半	午後	必修	演習/講義	42																																																																																												
<p>■授業内容</p> <p>ジュエリーが顧客の手元に届くまでの一連の流れを「ビジネス」の視点で学ぶ 与えられたテーマで、チームで協力して自主的に調べ、まとめ、発表し合う場とする</p> <p>■到達目標</p> <p>クラフトマンやデザイナー以外にも、ジュエリーに係る仕事には様々なものがあることを知る ジュエリーが顧客のもとに届くまでの一連の流れを「ビジネス」の視点で理解する 様々な仕事を理解したうえで、将来の卒業後の志望について考え、広い視野で就職活動に臨めるようにする</p> <p>■授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>月日</th> <th>曜日</th> <th>授業項目</th> <th>内容</th> <th>教室</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>9/12</td> <td>木</td> <td>オリエンテーション</td> <td>ジュエリーをビジネスとして考えてみよう</td> <td rowspan="14">7</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>9/24</td> <td>火</td> <td>プレゼンテーション</td> <td>プレゼンテーションの校正、準備、実践について</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>9/30</td> <td>月</td> <td>経済学基礎①</td> <td>ミクロ経済、マクロ経済、金などの素材相場の基礎知識</td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>10/7</td> <td>月</td> <td>経済学基礎②</td> <td>付加価値、ブランドとは何か(経済的な側面から)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>10/21</td> <td>月</td> <td>ジュエリー市場について</td> <td>ジュエリー市場の現状とそれらを取り巻く数字、会社の利益構造</td> <td></td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>10/28</td> <td>月</td> <td>マーケティングミックス①</td> <td>企業から見たモノづくりと市場浸透への考え方</td> <td></td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>11/11</td> <td>月</td> <td>マーケットリサーチ①</td> <td>企業がマーケティングミックスをどのように実施しているかを調査</td> <td></td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>11/18</td> <td>月</td> <td>マーケットリサーチ②</td> <td>調査結果のまとめとプレゼンテーション</td> <td></td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>11/25</td> <td>月</td> <td>マーケティングミックス②</td> <td>マーケティングミックスを実践してみる</td> <td></td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>12/2</td> <td>月</td> <td>ジュエリー市場の傾向とニュース</td> <td>2023年度上期のニュースのまとめ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>12/9</td> <td>月</td> <td>企業連携授業</td> <td>生産管理の基本、Quality、Cost、Deliveryについて</td> <td></td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>12/16</td> <td>月</td> <td>企業連携授業</td> <td>ジュエリービジネスの現場を見学する</td> <td></td> </tr> <tr> <td>13</td> <td>12/23</td> <td>月</td> <td>グループワークとまとめ</td> <td>ケーススタディによるグループワークとクラスのまとめ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>14</td> <td>1/9</td> <td>木</td> <td>最終プレゼンテーション</td> <td>クラスのまとめと、「私はこんな仕事に就きたい」</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>■履修上の注意事項</p> <p>ジュエリーそのものだけでなく、市場に興味を持って臨むこと</p> <p>■評価方法</p> <p>ディスカッションへの参加態度、課題への取り組み、プレゼンテーションの内容を総合的に評価</p> <p>■教科書、教材</p> <p>随時資料を配布</p> <p>■授業時間以外の学習</p> <p>経済、経営についての基礎知識を身につけるため、新聞の購読を推奨 ジュエリー・素材相場・小売市場などをテーマに、毎週1件以上、興味を持った新聞記事をスクラップしておくこと</p> <p>■教員紹介</p> <p>ジュエリーブランドにて営業、営業企画、店舗開発、販売促進などを経験したのちジュエリーの企画販売会社を創業 現在は会社役員</p> <p>■その他</p> <p>講義の中でグループワーク、資料の作成、プレゼンテーションスキルも獲得し、就職活動と就職後の業務に活かす</p>									月日	曜日	授業項目	内容	教室	備考	1	9/12	木	オリエンテーション	ジュエリーをビジネスとして考えてみよう	7		2	9/24	火	プレゼンテーション	プレゼンテーションの校正、準備、実践について		3	9/30	月	経済学基礎①	ミクロ経済、マクロ経済、金などの素材相場の基礎知識		4	10/7	月	経済学基礎②	付加価値、ブランドとは何か(経済的な側面から)		5	10/21	月	ジュエリー市場について	ジュエリー市場の現状とそれらを取り巻く数字、会社の利益構造		6	10/28	月	マーケティングミックス①	企業から見たモノづくりと市場浸透への考え方		7	11/11	月	マーケットリサーチ①	企業がマーケティングミックスをどのように実施しているかを調査		8	11/18	月	マーケットリサーチ②	調査結果のまとめとプレゼンテーション		9	11/25	月	マーケティングミックス②	マーケティングミックスを実践してみる		10	12/2	月	ジュエリー市場の傾向とニュース	2023年度上期のニュースのまとめ		11	12/9	月	企業連携授業	生産管理の基本、Quality、Cost、Deliveryについて		12	12/16	月	企業連携授業	ジュエリービジネスの現場を見学する		13	12/23	月	グループワークとまとめ	ケーススタディによるグループワークとクラスのまとめ		14	1/9	木	最終プレゼンテーション	クラスのまとめと、「私はこんな仕事に就きたい」	
	月日	曜日	授業項目	内容	教室	備考																																																																																													
1	9/12	木	オリエンテーション	ジュエリーをビジネスとして考えてみよう	7																																																																																														
2	9/24	火	プレゼンテーション	プレゼンテーションの校正、準備、実践について																																																																																															
3	9/30	月	経済学基礎①	ミクロ経済、マクロ経済、金などの素材相場の基礎知識																																																																																															
4	10/7	月	経済学基礎②	付加価値、ブランドとは何か(経済的な側面から)																																																																																															
5	10/21	月	ジュエリー市場について	ジュエリー市場の現状とそれらを取り巻く数字、会社の利益構造																																																																																															
6	10/28	月	マーケティングミックス①	企業から見たモノづくりと市場浸透への考え方																																																																																															
7	11/11	月	マーケットリサーチ①	企業がマーケティングミックスをどのように実施しているかを調査																																																																																															
8	11/18	月	マーケットリサーチ②	調査結果のまとめとプレゼンテーション																																																																																															
9	11/25	月	マーケティングミックス②	マーケティングミックスを実践してみる																																																																																															
10	12/2	月	ジュエリー市場の傾向とニュース	2023年度上期のニュースのまとめ																																																																																															
11	12/9	月	企業連携授業	生産管理の基本、Quality、Cost、Deliveryについて																																																																																															
12	12/16	月	企業連携授業	ジュエリービジネスの現場を見学する																																																																																															
13	12/23	月	グループワークとまとめ	ケーススタディによるグループワークとクラスのまとめ																																																																																															
14	1/9	木	最終プレゼンテーション	クラスのまとめと、「私はこんな仕事に就きたい」																																																																																															

JD	授業科目名	担当講師	学期	午前/午後	必修/選択	授業形態	時間数
2年	ジュエリー造形2	小林 京和	前期	午前	必修	実技	42
■授業内容 造形技法を学ぶ 線を使い、様々な造形法、また必要に応じた治具の作り方を習得する 効果的な加工、造形技法を用いて、各々の世界観を表現する ■到達目標 素材の特性、強度、質感を捉え、完成度の高いジュエリーを作る ■授業計画							
	月日	曜日	授業項目	内容	教室	備考	
1	4/10	水	実験試作①	銅線を変化させ、表情を付ける	4		
2	4/15	月	実験試作②	編む、組む等の技法で立体にする			
3	4/22	月	実験試作③	〃			
4	5/13	月	線材造形①	線材でジュエリーまたはオブジェを制作			
5	5/20	月	線材造形②	〃			
6	5/27	月	線材造形③	〃			
7	6/3	月	線材造形④	パネル制作			
8	6/10	月	線材造形⑤	〃			
9	6/17	月	線材造形⑥	講評			
10	6/24	月	チタン実習①	チタンの加工を学ぶ			
11	7/1	月	チタン実習②	チタンの加工をする			
12	7/8	月	チタン実習③	〃			
13	7/16	火	チタン実習④	チタンでジュエリーを作る			
14	7/22	月	チタン実習⑤	〃			
■履修上の注意事項 制作の説明、注意点をよく聞くこと ■評価方法 正確さ、完成度、デザイン、レポート、授業態度、出席率などを総合的に評価 ■教科書、教材 銀板、銀パイプ、銅線、チタン線 ■授業時間以外の学習 クラフトやアートなど様々な事に興味を持ち、よく見ること ■教員紹介 作家(ジュエリー、金工)、国内外で作品発表 様々な造形方法、またそれに必要な治具の制作、発想を指導 ■その他							

JD	授業科目名	担当講師	学期	午前/午後	必修/選択	授業形態	時間数
2年	ジュエリー造形2	小林 京和	後期前半	午前	必修	実技	42
■授業内容 チタン、真鍮の取り扱い、加工について学ぶ 金具の機能について学ぶ							
■到達目標 金具の機能、ロウ付け以外の固定方法を習得する 透かした板の重なりを魅せるクオリティーの高いブローチを制作する							
■授業計画							
	月日	曜日	授業項目	内容	教室	備考	
1	9/12	木	造形作品 I ①	デザイン、型紙	4		
2	9/24	火	造形作品 I ②	トレース、穴開け			
3	9/30	月	造形作品 I ③	地金切り出し			
4	10/7	月	造形作品 I ④	タップ切り			
5	10/21	月	造形作品 I ⑤	透かし			
6	10/28	月	造形作品 I ⑥	色止め、仕上げ			
7	11/11	月	造形作品 I ⑦	講評			
8	11/18	月	造形作品 II ①	デザイン			
9	11/25	月	造形作品 II ②	切り出し			
10	12/2	月	造形作品 II ③	成形			
11	12/9	月	造形作品 II ④	〃			
12	12/16	月	造形作品 II ⑤	色止め			
13	12/23	月	造形作品 II ⑥	仕上げ			
14	1/9	木	造形作品 II ⑦	講評			
■履修上の注意事項 制作の説明、注意点を良く聞く事							
■評価方法 正確さ、完成度、デザイン、レポート、授業態度、出席率などを総合的に評価							
■教科書、教材 銀板、真鍮板、ステンレスバネ線、チタン							
■授業時間以外の学習 自分の興味のあるものを深く知ること							
■教員紹介 作家(ジュエリー、金工)、国内外で作品発表 様々な造形方法、またそれに必要な治具の制作、発想を指導							
■その他 ステンレス板 SUS304、タガネ(曲げる)							

JD	授業科目名	担当講師	学期	午前/午後	必修/選択	授業形態	時間数																																																																																												
2年	日本伝統彫金2	高橋 由希子	前期	午後	必修	実技	42																																																																																												
<p>■授業内容</p> <p>日本の伝統的彫金技法(彫り・象嵌)を学ぶ 色上げ(各地金の)技術を学ぶ</p> <p>■到達目標</p> <p>伝統技法を理解し、修得し、創作に生かす</p>																																																																																																			
<p>■授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>月日</th> <th>曜日</th> <th>授業項目</th> <th>内容</th> <th>教室</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>4/18</td> <td>木</td> <td>地金吹き</td> <td>端材の地金を溶解しインゴットを制作する</td> <td rowspan="14">4</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>4/25</td> <td>木</td> <td>彫金作品制作 I ①</td> <td>布目象嵌用鑿作り</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>5/2</td> <td>木</td> <td>彫金作品制作 I ②</td> <td>象嵌</td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>5/9</td> <td>木</td> <td>彫金作品制作 I ③</td> <td>〃</td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>5/16</td> <td>木</td> <td>彫金作品制作 I ④</td> <td>〃</td> <td></td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>5/23</td> <td>木</td> <td>彫金作品制作 I ⑤</td> <td>〃</td> <td></td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>6/6</td> <td>木</td> <td>彫金作品制作 I ⑥</td> <td>〃</td> <td></td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>6/13</td> <td>木</td> <td>彫金作品制作 II ①</td> <td>象嵌(布目、線)作品作り</td> <td></td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>6/20</td> <td>木</td> <td>彫金作品制作 II ②</td> <td>〃</td> <td></td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>7/4</td> <td>木</td> <td>彫金作品制作 II ③</td> <td>〃</td> <td></td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>7/5</td> <td>金</td> <td>彫金作品制作 II ④</td> <td>〃</td> <td></td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>7/11</td> <td>木</td> <td>彫金作品制作 II ⑤</td> <td>〃</td> <td></td> </tr> <tr> <td>13</td> <td>7/18</td> <td>木</td> <td>彫金作品制作 II ⑥</td> <td>〃</td> <td></td> </tr> <tr> <td>14</td> <td>7/25</td> <td>木</td> <td>彫金作品制作 II ⑦</td> <td>〃</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>									月日	曜日	授業項目	内容	教室	備考	1	4/18	木	地金吹き	端材の地金を溶解しインゴットを制作する	4		2	4/25	木	彫金作品制作 I ①	布目象嵌用鑿作り		3	5/2	木	彫金作品制作 I ②	象嵌		4	5/9	木	彫金作品制作 I ③	〃		5	5/16	木	彫金作品制作 I ④	〃		6	5/23	木	彫金作品制作 I ⑤	〃		7	6/6	木	彫金作品制作 I ⑥	〃		8	6/13	木	彫金作品制作 II ①	象嵌(布目、線)作品作り		9	6/20	木	彫金作品制作 II ②	〃		10	7/4	木	彫金作品制作 II ③	〃		11	7/5	金	彫金作品制作 II ④	〃		12	7/11	木	彫金作品制作 II ⑤	〃		13	7/18	木	彫金作品制作 II ⑥	〃		14	7/25	木	彫金作品制作 II ⑦	〃	
	月日	曜日	授業項目	内容	教室	備考																																																																																													
1	4/18	木	地金吹き	端材の地金を溶解しインゴットを制作する	4																																																																																														
2	4/25	木	彫金作品制作 I ①	布目象嵌用鑿作り																																																																																															
3	5/2	木	彫金作品制作 I ②	象嵌																																																																																															
4	5/9	木	彫金作品制作 I ③	〃																																																																																															
5	5/16	木	彫金作品制作 I ④	〃																																																																																															
6	5/23	木	彫金作品制作 I ⑤	〃																																																																																															
7	6/6	木	彫金作品制作 I ⑥	〃																																																																																															
8	6/13	木	彫金作品制作 II ①	象嵌(布目、線)作品作り																																																																																															
9	6/20	木	彫金作品制作 II ②	〃																																																																																															
10	7/4	木	彫金作品制作 II ③	〃																																																																																															
11	7/5	金	彫金作品制作 II ④	〃																																																																																															
12	7/11	木	彫金作品制作 II ⑤	〃																																																																																															
13	7/18	木	彫金作品制作 II ⑥	〃																																																																																															
14	7/25	木	彫金作品制作 II ⑦	〃																																																																																															
<p>■履修上の注意事項</p> <p>火及び、薬品の取り扱いに注意 失敗しても最後まで作り上げる事</p> <p>■評価方法</p> <p>課題の完成度、出席率、理解度を合わせ、総合的に評価</p> <p>■教科書、教材</p> <p>■授業時間以外の学習</p> <p>毎日練習、展覧会などの見学 レポートにまとめる</p> <p>■教員紹介</p> <p>ジュエリー企業勤務ののち原型師として独立、彫金作家として活動</p> <p>■その他</p>																																																																																																			

JD	授業科目名	担当講師	学期	午前/午後	必修/選択	授業形態	時間数
2年	日本伝統彫金2	高橋 由希子	後期前半	午後	必修	実技	42
<p>■授業内容 数多く練習し、技術を体得する</p> <p>■到達目標 リングの彫りを体得していく為に、道具作りから修得</p>							
■授業計画							
	月日	曜日	授業項目	内容	教室	備考	
1	9/19	木	リング総彫り①	平面での図を理解し、彫り練習	4		
2	9/26	木	リング総彫り②	練習用のリングで練習			
3	10/3	木	リング総彫り③	"			
4	10/10	木	リング総彫り④	"			
5	10/17	木	リング総彫り⑤	"			
6	10/24	木	中文字用鑿作り	鉄を自分で曲げ、鑿を作る			
7	10/31	木	中文字練習①	練習用のリングで練習(中文字)			
8	11/7	木	中文字練習②	"			
9	11/14	木	中文字練習③	"			
10	11/21	木	リング総彫り①	各自練習			
11	11/28	木	リング総彫り②	"			
12	12/5	木	リング総彫り③	本番制作(銀でリングを作り、中文字を彫る)			
13	12/12	木	リング総彫り④	"			
14	12/19	木	リング総彫り⑤	"			
<p>■履修上の注意事項 火及び、薬品の取り扱いに注意 失敗しても最後まで作り上げる事</p> <p>■評価方法 課題の完成度、出席率、理解度を合わせ、総合的に評価</p> <p>■教科書、教材</p> <p>■授業時間以外の学習 毎日練習、展覧会などの見学 レポートにまとめる</p> <p>■教員紹介 彫金工房勤務ののち独立、彫金作家として活動</p> <p>■その他</p>							

JD	授業科目名	担当講師	学期	午前/午後	必修/選択	授業形態	時間数
2年	宝飾造形	遠藤 容子	前期	午後	必修	実技	42
■授業内容 難易度の高い手編みチェーン、金具を制作する							
■到達目標 難易度の高いチェーン、金具を完成させる 必要な道具を作る、調整する							
■授業計画							
	月日	曜日	授業項目	内容	教室	備考	
1	4/17	水	スクリューチェーンプレス①	スクリューチェーンの制作 - 鎖粒の切断	4		
2	4/24	水	スクリューチェーンプレス②	- 鎖粒のロウ付け			
3	5/1	水	スクリューチェーンプレス③	- 仕上げ			
4	5/8	水	喜平チェーンリング①	平喜平鎖の制作 - 鎖粒の切断、ロウ付け			
5	5/15	水	喜平チェーンリング②	リングにまとめる - 鎖の成型			
6	5/22	水	喜平チェーンリング③	- 仕上げ			
7	5/29	水	雷門プレス①	雷門鎖制作 - 鎖粒の切断、鎖粒成型			
8	6/5	水	雷門プレス②	- 鎖粒成型、ロウ付け			
9	6/12	水	雷門プレス③	- 鎖粒成型、ロウ付け			
10	6/14	金	雷門プレス④	- 鎖整形			
11	6/19	水	雷門プレス⑤	- 鎖仕上げ			
12	7/3	水	クラスプ①	クラスプ金具の制作 - 部品切断、ロウ付け			
13	7/10	水	クラスプ②	- 仕上げ、雷門鎖に取り付け			
14	7/17	水	クラスプ③	講評			
■履修上の注意事項 パーツが細かいため、紛失に注意する(粉受け、机上の整理) やつとこの口の傷をとって磨いておくこと							
■評価方法 鎖の全体形状、仕上げ、鎖粒の大きさなどの揃い具合、動きのなめらかさと鎖粒の密度、レポート内容をそれぞれ100点満点で評価し、その平均値を算出して評価点とする							
■教科書、教材 オリジナル教科書(毎年更新)							
■授業時間以外の学習 見学时又はパーツ店に行くとき、使われている鎖の名称を覚える事							
■教員紹介 山脇卒業後、ジュエリーブランド勤務、ギャラリー勤務、ジュエリー作家 基礎造形技術、製鎖技術を指導							
■その他							

JD	授業科目名	担当講師	学期	午前/午後	必修/選択	授業形態	時間数																																																																																												
2年	宝飾造形	遠藤 容子	後期前半	午前	必修	実技	42																																																																																												
<p>■授業内容 難易度の高い手編みチェーン、金具を制作する</p> <p>■到達目標 難易度の高いチェーン、金具を完成させる 必要な道具を作る、調整する</p> <p>■授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>月日</th> <th>曜日</th> <th>授業項目</th> <th>内容</th> <th>教室</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>9/18</td> <td>水</td> <td>グラデーションネックレス①</td> <td>グラデーションのネックレス制作 - 鎖粒切断</td> <td rowspan="14">4</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>9/25</td> <td>水</td> <td>グラデーションネックレス②</td> <td>- 鎖組立て</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>10/2</td> <td>水</td> <td>グラデーションネックレス③</td> <td>- 鎖ロウ付け</td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>10/9</td> <td>水</td> <td>グラデーションネックレス④</td> <td>- //</td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>10/16</td> <td>水</td> <td>グラデーションネックレス⑤</td> <td>- 鎖成形</td> <td></td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>10/23</td> <td>水</td> <td>グラデーションネックレス⑥</td> <td>- 仕上げ、金具取り付け</td> <td></td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>10/30</td> <td>水</td> <td>グラデーションネックレス⑦</td> <td>講評</td> <td></td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>11/6</td> <td>水</td> <td>籠・子持ち鎖①</td> <td>籠の制作 - 部品の切断</td> <td></td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>11/13</td> <td>水</td> <td>籠・子持ち鎖②</td> <td>- ロウ付け</td> <td></td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>11/20</td> <td>水</td> <td>籠・子持ち鎖③</td> <td>- 仕上げ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>11/27</td> <td>水</td> <td>籠・子持ち鎖④</td> <td>子持ち鎖の制作 - 鎖粒切断、パーツ作成</td> <td></td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>12/4</td> <td>水</td> <td>籠・子持ち鎖⑤</td> <td>- 鎖組立て、ロウ付け、金具作成</td> <td></td> </tr> <tr> <td>13</td> <td>12/11</td> <td>水</td> <td>籠・子持ち鎖⑥</td> <td>- 仕上げ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>14</td> <td>12/18</td> <td>水</td> <td>籠・子持ち鎖⑦</td> <td>講評</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>■履修上の注意事項 構造が複雑になってくるので、テキストを事前に確認し、理解した上で制作を進めること</p> <p>■評価方法 鎖の全体形状、仕上げ、鎖粒の大きさなどの揃い具合、動きのなめらかさと鎖粒の密度、レポート内容をそれぞれ100点満点で評価し、その平均値を算出して評価点とする</p> <p>■教科書、教材 オリジナル教科書(毎年更新)</p> <p>■授業時間以外の学習 見学时又はパーツ店に行くとき、使われている鎖の名称を覚える事</p> <p>■教員紹介 山脇卒業後、ジュエリーブランド勤務、ギャラリー勤務、ジュエリー作家 基礎造形技術、製鎖造形技術を指導</p> <p>■その他</p>									月日	曜日	授業項目	内容	教室	備考	1	9/18	水	グラデーションネックレス①	グラデーションのネックレス制作 - 鎖粒切断	4		2	9/25	水	グラデーションネックレス②	- 鎖組立て		3	10/2	水	グラデーションネックレス③	- 鎖ロウ付け		4	10/9	水	グラデーションネックレス④	- //		5	10/16	水	グラデーションネックレス⑤	- 鎖成形		6	10/23	水	グラデーションネックレス⑥	- 仕上げ、金具取り付け		7	10/30	水	グラデーションネックレス⑦	講評		8	11/6	水	籠・子持ち鎖①	籠の制作 - 部品の切断		9	11/13	水	籠・子持ち鎖②	- ロウ付け		10	11/20	水	籠・子持ち鎖③	- 仕上げ		11	11/27	水	籠・子持ち鎖④	子持ち鎖の制作 - 鎖粒切断、パーツ作成		12	12/4	水	籠・子持ち鎖⑤	- 鎖組立て、ロウ付け、金具作成		13	12/11	水	籠・子持ち鎖⑥	- 仕上げ		14	12/18	水	籠・子持ち鎖⑦	講評	
	月日	曜日	授業項目	内容	教室	備考																																																																																													
1	9/18	水	グラデーションネックレス①	グラデーションのネックレス制作 - 鎖粒切断	4																																																																																														
2	9/25	水	グラデーションネックレス②	- 鎖組立て																																																																																															
3	10/2	水	グラデーションネックレス③	- 鎖ロウ付け																																																																																															
4	10/9	水	グラデーションネックレス④	- //																																																																																															
5	10/16	水	グラデーションネックレス⑤	- 鎖成形																																																																																															
6	10/23	水	グラデーションネックレス⑥	- 仕上げ、金具取り付け																																																																																															
7	10/30	水	グラデーションネックレス⑦	講評																																																																																															
8	11/6	水	籠・子持ち鎖①	籠の制作 - 部品の切断																																																																																															
9	11/13	水	籠・子持ち鎖②	- ロウ付け																																																																																															
10	11/20	水	籠・子持ち鎖③	- 仕上げ																																																																																															
11	11/27	水	籠・子持ち鎖④	子持ち鎖の制作 - 鎖粒切断、パーツ作成																																																																																															
12	12/4	水	籠・子持ち鎖⑤	- 鎖組立て、ロウ付け、金具作成																																																																																															
13	12/11	水	籠・子持ち鎖⑥	- 仕上げ																																																																																															
14	12/18	水	籠・子持ち鎖⑦	講評																																																																																															

JD	授業科目名	担当講師	学期	午前/午後	必修/選択	授業形態	時間数
2年	ヨーロッパ伝統彫金	田村 晴子	前期	午後	必修	実技	42
■授業内容 古代ヨーロッパの作品を数多く見て、その制作技法を推測してみる その技法を使って、デザイン制作する							
■到達目標 古代ヨーロッパの技法を生かした作品を期限内に仕上げる							
■授業計画							
	月日	曜日	授業項目	内容	教室	備考	
1	4/17	水	オリエンテーション	工程説明	4		
2	4/24	水	たがね作り	たがね作り			
3	5/1	水	彫り練習①	たがね作り、直線彫り練習			
4	5/8	水	彫り練習②	曲線彫り練習			
5	5/15	水	彫り練習③	〃			
6	5/22	水	彫りジュエリー①	造形説明			
7	5/29	水	彫りジュエリー②	板切り出し、穴あけ			
8	6/5	水	彫りジュエリー③	透かし			
9	6/12	水	彫りジュエリー④	〃			
10	6/19	水	彫りジュエリー⑤	整形			
11	6/21	金	彫りジュエリー⑥	ロウ付け			
12	7/3	水	彫りジュエリー⑦	彫り			
13	7/10	水	彫りジュエリー⑧	彫り、仕上げ			
14	7/17	水	彫りジュエリー⑨	講評			
■履修上の注意事項 解説項目、作業量が多いため、欠席しないように留意する							
■評価方法 デザイン、仕上げ、提出期限:80% / 出席率、授業姿勢:20%							
■教科書、教材 「ヨーロッパの宝飾芸術」、「DAS EISENWERK」 木彫りのコピー資料、参考作品							
■授業時間以外の学習 見学、図録や文献からの学習、レポート							
■教員紹介 ジュエリーブランド勤務後、フィレンツェにてフィレンツェ彫りを修学 帰国後自身のブランドを発表、作家活動(彫金、ジュエリー)							
■その他							

JD	授業科目名	担当講師	学期	午前/午後	必修/選択	授業形態	時間数
2年	ヨーロッパ伝統彫金	田村 晴子	後期前半	午後	必修	実技	42
<p>■授業内容</p> <p>古代ヨーロッパの作品を数多く見て、その制作技法を推測してみる その技法を使って、デザイン制作する</p> <p>■到達目標</p> <p>古代ヨーロッパの技法を生かした作品を期限内に仕上げる</p>							
■授業計画							
	月日	曜日	授業項目	内容	教室	備考	
1	9/18	水	唐草ジュエリー①	参考作品、本を観る、唐草について解説、デザイン相談	4		
2	9/25	水	唐草ジュエリー②	デザイン検討			
3	10/2	水	唐草ジュエリー③	筋ヤスリ使用方法説明			
4	10/9	水	唐草ジュエリー④	制作			
5	10/16	水	唐草ジュエリー⑤	〃			
6	10/23	水	唐草ジュエリー⑥	〃			
7	10/30	水	唐草ジュエリー⑦	作品、レポート提出、講評			
8	11/6	水	K18リング①	素材解説(金について)、デザイン			
9	11/13	水	K18リング②	制作			
10	11/20	水	K18リング③	制作(金ロウ作成)			
11	11/27	水	K18リング④	制作			
12	12/4	水	K18リング⑤	〃			
13	12/11	水	K18リング⑥	〃			
14	12/18	水	K18リング⑦	作品、レポート提出、講評			
<p>■履修上の注意事項</p> <p>解説項目、作業量が多いため、欠席しないように留意する</p> <p>■評価方法</p> <p>デザイン、仕上げ、提出期限:80% / 出席率、授業姿勢:20% ※2作品の平均値</p> <p>■教科書、教材</p> <p>「ヨーロッパの宝飾芸術」、「DAS EISENWERK」 木彫りのコピー資料、参考作品</p> <p>■授業時間以外の学習</p> <p>見学、図録や文献からの学習、レポート</p> <p>■教員紹介</p> <p>ジュエリーブランド勤務後、フィレンツェにてフィレンツェ彫りを修学 帰国後自身のブランドを発表、作家活動(彫金、ジュエリー)</p> <p>■その他</p>							

JD	授業科目名	担当講師	学期	午前/午後	必修/選択	授業形態	時間数
2年	レンダリング2	後藤・鷹尾	前期	午前	必修	実技	42
■授業内容 プレゼンテーションに必要な、実践で求められる表現手法を展開する デザインプロセスの実践を通し、オリジナリティーのある発想力を養う 1年次のコンピュータでの制作経験を踏まえながら、更に様々な表現技法を学ぶ ■到達目標 イメージを具体化する描写テクニックを身に付ける、効果的な撮影方法を学ぶ 観察と考察から独創的なデザインへと具体化し、最終的に人へ伝える手段方法を体得する 1年次の制作経験を基に、IllustratorとPhotoshopを連動することにより、描画方法の幅を広げる ■授業計画							
	月日	曜日	授業項目	内容	教室	備考	
1	4/18	木	コンペ用デザイン画 I ①	アンカットダイヤモンドジュエリーデザインコンテスト	9	後藤 晶代	
2	4/25	木	コンペ用デザイン画 I ②	〃			
3	5/2	木	コンペ用デザイン画 I ③	〃			
4	5/9	木	コンペ用デザイン画 I ④	〃			
5	5/16	木	コンペ用デザイン画 I ⑤	〃			
6	5/23	木	演習①	デザイン図面1点制作する			
7	7/4	木	演習②	〃			
8	7/11	木	演習③	〃			
9	7/12	金	カメラ①	自宅スタジオを想定した簡易セッティング方法を学ぶ	7	鷹尾 茂	
10	7/12	金	カメラ②	自宅スタジオを想定したライティングと撮影実習			
11	7/18	木	画像修正	画像を修正する方法を学ぶ	9	後藤 晶代	
12	7/19	金	カメラ③	自宅スタジオを想定した撮影実習	7	鷹尾 茂	
13	7/19	金	カメラ④	自宅スタジオを想定した撮影実習と講評			
14	7/25	木	レイアウト	レイアウト方法を学ぶ	9	後藤 晶代	
■履修上の注意事項 制作準備は最低限行っておくこと 提出期限は厳守 ■評価方法 提出課題作品ごとに授業時間や内容によって比率化し、100点満点に換算します 評価項目 = 課題作品・宿題提出物・授業姿勢・出席 ■教科書、教材 ■授業時間以外の学習 授業では講義、指導、制作、講評が中心なので、授業外でアイデアや構想をしっかり練る ■教員紹介 後藤 晶代 / ジュエリーブランドに勤務(企画)後、自身のブランドを発表、コスメブランド(マーケティング企画)にも携わる 鷹尾 茂 / フリーランスカメラマン ■その他 授業内でプリントを配布 学生持参用具: MacBook Pro一式・筆記用具・ノート							

JD	授業科目名	担当講師	学期	午前/午後	必修/選択	授業形態	時間数
2年	レンダリングCG2	後藤 晶代	後期前半	午前	必修	実技	42
■授業内容 プレゼンテーションに必要な、実践で求められる表現手法を展開する デザインプロセスの実践を通し、オリジナリティーのある発想力を養う 1年次のコンピュータでの制作経験を踏まえながら、更に様々な表現技法を学ぶ ■到達目標 イメージを具体化する描写テクニックを身に付ける 観察と考察から独創的なデザインへと具体化し、最終的に人へ伝える手段方法を体得する 1年次の制作経験を基に、IllustratorとPhotoshopを連動することにより、描画方法の幅を広げる ■授業計画							
	月日	曜日	授業項目	内容	教室	備考	
1	9/19	木	コンペ用デザイン画Ⅱ①	糸魚川ジュエリーデザインコンテスト	9		
2	9/26	木	コンペ用デザイン画Ⅱ②	〃			
3	10/3	木	コンペ用デザイン画Ⅱ③	〃			
4	10/10	木	コンペ用デザイン画Ⅱ④	〃			
5	10/17	木	コンペ用デザイン画Ⅱ⑤	〃			
6	10/24	木	コンペ用デザイン画Ⅱ⑥	〃			
7	10/31	木	画像修正	画像修正について			
8	11/7	木	レイアウト	レイアウトについて			
9	11/14	木	ポートフォリオ作成①	ポートフォリオについて			
10	11/21	木	ポートフォリオ作成②	デザインング			
11	11/28	木	ポートフォリオ作成③	〃			
12	12/5	木	ポートフォリオ作成④	レイアウト作業			
13	12/12	木	ポートフォリオ作成⑤	レイアウト作業、プリント			
14	12/19	木	ポートフォリオ作成⑥	講評			
■履修上の注意事項 制作準備は最低限行っておくこと 提出期限は厳守 ■評価方法 提出課題作品ごとに授業時間や内容によって比率化し、100点満点に換算します 評価項目 = 課題作品・宿題提出物・授業姿勢・出席 ■教科書、教材 ■授業時間以外の学習 授業では講義、指導、制作、講評が中心なので、授業外でアイデアや構想をしっかりと練る ■教員紹介 ジュエリーブランドに勤務(企画)後、自身のブランドを発表 コスメブランド(マーケティング企画)にも携わる ■その他 授業内でプリントを配布 学生持参用具:MacBook Pro一式・筆記用具・ノート							

JD	授業科目名	担当講師	学期	午前/午後	必修/選択	授業形態	時間数
2年	オブジェ2	江原 真理子	前期	午後	必修	実技	42
■授業内容 オブジェ制作を通じて、立体的に思考する力を養う							
■到達目標 3本ロール/サイズの大きい物のロウ付け等のノウハウを身につける							
■授業計画							
	月日	曜日	授業項目	内容	教室	備考	
1	4/10	水	3本ロール①	制作	1・4		
2	4/15	月	3本ロール②	"			
3	4/22	月	3本ロール③	"			
4	5/13	月	3本ロール④	"			
5	5/20	月	3本ロール⑤	"			
6	5/27	月	3本ロール⑥	"			
7	6/3	月	3本ロール⑦	"			
8	6/10	月	3本ロール⑧	"			
9	6/17	月	3本ロール⑨	"			
10	6/24	月	3本ロール⑩	"			
11	7/1	月	3本ロール⑪	"			
12	7/8	月	3本ロール⑫	"			
13	7/16	火	3本ロール⑬	"			
14	7/22	月	3本ロール⑭	講評			
■履修上の注意事項 薬品や機械を使用する為、安全に留意して取り組む事							
■評価方法 作品提出及び、レポート 課題評価(作品に対するの評価、完成度):60% / 可能性(方向性、次への期待度):20% / 授業姿勢:20%							
■教科書、教材							
■授業時間以外の学習							
■教員紹介							
■その他							

JD	授業科目名	担当講師	学期	午前/午後	必修/選択	授業形態	時間数
2年	レポート・ファイル制作・見学2	中村 佳世	前期	午後	必修	演習/実技	42
<p>■授業内容</p> <p>授業で制作した課題についてレポートを作成する、見学、授業フォロー 就活に役立つポートフォリオ作り、就活フォロー 山脇祭準備</p> <p>■到達目標</p> <p>ポートフォリオの質を迫及する</p>							
■授業計画							
	月日	曜日	授業項目	内容	教室	備考	
1	4/12	金	ガイダンス	ガイダンス	4		
2	4/26	金	制作	各授業課題のフォローアップ			
3	5/10	金	制作	〃			
4	5/24	金	制作	〃			
5	6/7	金	見学①	日本金工展の見学			
6	6/13	木	制作	各授業課題のフォローアップ	7		
7	6/14	金	卒業生懇談会①	従事している仕事や就職活動について			
8	6/27	木	制作	各授業課題のフォローアップ	4		
9	6/28	金	制作	〃			
10	7/5	金	見学②	ジュエリー展、マーケットリサーチなどの見学			
11	7/24	水	制作	各授業課題のフォローアップ			
12	7/26	金	制作	〃	7		
13	7/29	月	企業連携授業	「知的財産権入門講座」			
14	1/24	金	制作	〃	4		
<p>■履修上の注意事項</p> <p>■評価方法</p> <p>見学のレポート、授業態度、出席率などを合わせ、総合的に評価</p> <p>■教科書、教材</p> <p>■授業時間以外の学習</p> <p>■教員紹介</p> <p>国内外の展覧会で作品発表する作家(ジュエリー、七宝)、大学、専門学校で講師</p> <p>■その他</p> <p>12コマ～14コマは就職講座1との授業入れ替え分</p>							

JD	授業科目名	担当講師	学期	午前/午後	必修/選択	授業形態	時間数																																																																																														
2年	レポート・ファイル制作・見学2	中村 佳世	後期前半	午後	必修	演習/実技	42																																																																																														
<p>■授業内容</p> <p>授業で制作した課題についてレポートを作成する、見学、授業フォロー 就活に役立つポートフォリオ作り、就活フォロー</p> <p>■到達目標</p> <p>ポートフォリオの質を迫及する</p>																																																																																																					
<p>■授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>月日</th> <th>曜日</th> <th>授業項目</th> <th>内容</th> <th>教室</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>9/13</td> <td>金</td> <td>制作</td> <td>各授業課題のフォローアップ</td> <td rowspan="6">4</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>9/27</td> <td>金</td> <td>制作</td> <td>〃</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>10/4</td> <td>金</td> <td>見学③</td> <td>七宝展の見学</td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>10/25</td> <td>金</td> <td>制作</td> <td>各授業課題のフォローアップ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>11/15</td> <td>金</td> <td>制作</td> <td>〃</td> <td></td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>11/22</td> <td>金</td> <td>制作</td> <td>〃</td> <td></td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>11/29</td> <td>金</td> <td>卒業生懇談会②</td> <td>従事している仕事や就職活動について</td> <td>7</td> <td></td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>12/13</td> <td>金</td> <td>制作</td> <td>各授業課題のフォローアップ</td> <td rowspan="7">4</td> <td></td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>12/20</td> <td>金</td> <td>大掃除</td> <td>大掃除</td> <td></td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>1/17</td> <td>金</td> <td>制作</td> <td>各授業課題のフォローアップ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>1/24</td> <td>金</td> <td>制作</td> <td>〃</td> <td></td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>1/31</td> <td>金</td> <td>制作</td> <td>〃</td> <td></td> </tr> <tr> <td>13</td> <td>1/31</td> <td>金</td> <td>制作</td> <td>〃</td> <td></td> </tr> <tr> <td>14</td> <td>2/14</td> <td>金</td> <td>制作</td> <td>〃</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>									月日	曜日	授業項目	内容	教室	備考	1	9/13	金	制作	各授業課題のフォローアップ	4		2	9/27	金	制作	〃		3	10/4	金	見学③	七宝展の見学		4	10/25	金	制作	各授業課題のフォローアップ		5	11/15	金	制作	〃		6	11/22	金	制作	〃		7	11/29	金	卒業生懇談会②	従事している仕事や就職活動について	7		8	12/13	金	制作	各授業課題のフォローアップ	4		9	12/20	金	大掃除	大掃除		10	1/17	金	制作	各授業課題のフォローアップ		11	1/24	金	制作	〃		12	1/31	金	制作	〃		13	1/31	金	制作	〃		14	2/14	金	制作	〃	
	月日	曜日	授業項目	内容	教室	備考																																																																																															
1	9/13	金	制作	各授業課題のフォローアップ	4																																																																																																
2	9/27	金	制作	〃																																																																																																	
3	10/4	金	見学③	七宝展の見学																																																																																																	
4	10/25	金	制作	各授業課題のフォローアップ																																																																																																	
5	11/15	金	制作	〃																																																																																																	
6	11/22	金	制作	〃																																																																																																	
7	11/29	金	卒業生懇談会②	従事している仕事や就職活動について	7																																																																																																
8	12/13	金	制作	各授業課題のフォローアップ	4																																																																																																
9	12/20	金	大掃除	大掃除																																																																																																	
10	1/17	金	制作	各授業課題のフォローアップ																																																																																																	
11	1/24	金	制作	〃																																																																																																	
12	1/31	金	制作	〃																																																																																																	
13	1/31	金	制作	〃																																																																																																	
14	2/14	金	制作	〃																																																																																																	
<p>■履修上の注意事項</p> <p>■評価方法</p> <p>見学のレポート、授業態度、出席率などを合わせ、総合的に評価</p> <p>■教科書、教材</p> <p>■授業時間以外の学習</p> <p>■教員紹介</p> <p>国内外の展覧会で作品発表する作家(ジュエリー、七宝)、大学、専門学校で講師</p> <p>■その他</p> <p>11コマは3年生企画プレゼンテーションとの授業入れ替え分 12コマ～14コマは就職講座2との授業入れ替え分</p>																																																																																																					

JD	授業科目名	担当講師	学期	午前/午後	必修/選択	授業形態	時間数																																				
2年	進級制作	複数講師	後期後半	午前・午後	必修	実技	123																																				
<p>■授業内容 進級制作として、2年間で学んだ内容の集大成となる大作に取り組む</p> <p>■到達目標 表現したい世界観を適した技法を用い、計画的に完成度高く仕上げる</p>																																											
<p>■授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>授業回数</th> <th>時間数</th> <th>授業項目</th> <th>内容</th> <th>教室</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 2</td> <td>6</td> <td>企画プレゼン</td> <td>・進級制作作品のプレゼンテーション</td> <td>7 or ギャラリー</td> <td>複数講師</td> </tr> <tr> <td>3 28</td> <td>78</td> <td>進級制作</td> <td>・作品制作 ・展示計画 ・合評会準備</td> <td>4</td> <td>担当講師</td> </tr> <tr> <td>29 33</td> <td>15</td> <td>進級制作プレゼンボード</td> <td>・作品のデザイン画をPCで描き、ポスターを制作する</td> <td>9</td> <td>担当講師</td> </tr> <tr> <td>34 37</td> <td>12</td> <td>合評会</td> <td>・作品のプレゼンテーション ・講師による講評</td> <td>ギャラリー</td> <td>複数講師</td> </tr> <tr> <td>38 41</td> <td>12</td> <td>進級制作ブラッシュアップ</td> <td>・合評会での講師による講評を受け、完成度を高める ・卒業進級制作作品展のための作品展示準備</td> <td>4</td> <td>担当講師</td> </tr> </tbody> </table>								授業回数	時間数	授業項目	内容	教室	備考	1 2	6	企画プレゼン	・進級制作作品のプレゼンテーション	7 or ギャラリー	複数講師	3 28	78	進級制作	・作品制作 ・展示計画 ・合評会準備	4	担当講師	29 33	15	進級制作プレゼンボード	・作品のデザイン画をPCで描き、ポスターを制作する	9	担当講師	34 37	12	合評会	・作品のプレゼンテーション ・講師による講評	ギャラリー	複数講師	38 41	12	進級制作ブラッシュアップ	・合評会での講師による講評を受け、完成度を高める ・卒業進級制作作品展のための作品展示準備	4	担当講師
授業回数	時間数	授業項目	内容	教室	備考																																						
1 2	6	企画プレゼン	・進級制作作品のプレゼンテーション	7 or ギャラリー	複数講師																																						
3 28	78	進級制作	・作品制作 ・展示計画 ・合評会準備	4	担当講師																																						
29 33	15	進級制作プレゼンボード	・作品のデザイン画をPCで描き、ポスターを制作する	9	担当講師																																						
34 37	12	合評会	・作品のプレゼンテーション ・講師による講評	ギャラリー	複数講師																																						
38 41	12	進級制作ブラッシュアップ	・合評会での講師による講評を受け、完成度を高める ・卒業進級制作作品展のための作品展示準備	4	担当講師																																						
<p>■履修上の注意事項 多くの人に意見を頂く 関心のある分野を絞り込み、3年次の選択授業の方向性を定める</p> <p>■評価方法 理解度＋作品の完成度、授業態度＋授業進度＋提出期限、プレゼンテーション＋レポート</p> <p>■教科書、教材</p> <p>■授業時間以外の学習 国内外のジュエリー作品、工芸品、又はそれらが載る書籍に触れる機会を多く持つ</p> <p>■教員紹介 複数講師により、他の授業の教員紹介に準ずる</p> <p>■その他</p>																																											

Jewelry Design_3

JD	授業科目名	担当講師	学期	午前/午後	必修/選択	授業形態	時間数
3年	ハイジュエリー	山崎 忠秋	前期	午後	必修	演習/講義	42
■授業内容 貴金属、宝石、ジュエリー製品の取り扱いや法規、仕入れ方法、流通を学ぶ							
■到達目標 彫金の基礎技術を持った者が、現場で商品を取り扱う際に必要な最低限の知識を覚える							
■授業計画							
	月日	曜日	授業項目	内容	教室	備考	
1	4/16	火	お金の成り立ち	お金の成り立ち、装身具の仕分け、オークションについて	7		
2	4/23	火	オークション下見会	実際に商品を手に取り、10点取り上げレポートにまとめる			
3	4/30	火	オークション下見会レポート発表	オークション下見会のレポート発表			
4	5/7	火	レポート発表、貴金属	金、プラチナ、銀の価値と相場変動			
5	5/14	火	保証、修理メンテナンス	買い取り比較、保証、修理品から読み取れること、見積もり、古物商			
6	5/21	火	ダイヤモンド	採れる場所、原石、供給業者、研磨、輸入、4C、サイズやプロポーシヨンの違い、タイプ別分類			
7	5/28	火	サンプル実習	ダイヤモンド、エメラルド、ルビー、サファイア、地金			
8	6/4	火	宝石の価値の見方	実習おさらい、/ctの概念、比較方法、コストと粗利の計算			
9	6/11	火	アンティーク市場について①	世代を超えて受け継がれるジュエリー、年代ごとの特徴			
10	6/18	火	アンティーク市場について②	扱う際の注意点、年代ごとの特徴			
11	6/25	火	二次市場について	モノの本当の価値は二次市場が決める、二次市場で評価されるもの、評価されないもの			
12	7/2	火	ハイジュエリー	高額宝石の世界、着け心地の工夫			
13	7/9	火	合成ダイヤモンドの現状・時事	天然と合成の違い、合成ダイヤの技術の進化			
14	7/23	火	講評	まとめ			
■履修上の注意事項 社会人となり、プロとして働く強い目的意識を持って履修する							
■評価方法 提出物、授業態度、出席率を合わせ、総合的に評価							
■教科書、教材 プリント							
■授業時間以外の学習 ジュエリーオークションの下見会にてハンドリング 毎日オークション会場(お台場) 4月 小規模のクリエイターの多い New Jewelry展 4月 or 5月(状況次第) 複数の買い取り会社へジュエリーを持ち込み、評価にどれくらいの差があるか調べるリサーチ(状況次第) レポート提出							
■教員紹介 ジュエリー企業で25年勤務後、呉服屋を継承し、呉服とジュエリーを取り扱う							
■その他 宝飾品の営業、生産、企画業務に携わってきた講師が、現場での宝飾品の取り扱い、リペア、リモデル、古物取り扱い、 資材調達、アンティーク等2次市場について、現場見学を織り交ぜながら講義する。 ジュエリー制作の基礎がある学生が、ジュエリーの現場で必要となる知識を習得する。							

JD	授業科目名	担当講師	学期	午前/午後	必修/選択	授業形態	時間数
3年	ジュエリー造形3	富永 文	前期	午前	必修	実技	42
■授業内容 チェーンメールジュエリーの制作、テイストを合わせた オリジナルクラスプを作る ワイヤーネックチョーカーの制作							
■到達目標 線材を使って、チェーンメールジュエリーを正確に完成度高く編む デザインに合ったクラスプを制作しオリジナル作品を作る ワイヤーネックチョーカーを制作し、クラスプ、ジョイント部の回転金具の制作を学ぶ							
■授業計画							
	月日	曜日	授業項目	内容	教室	備考	
1	4/17	水	チェーンメールジュエリー①	チェーンメールのデザインの選定	2		
2	4/24	水	チェーンメールジュエリー②	必要な資材の分量を計算する、注文する			
3	5/1	水	ワイヤーネックチョーカー①	クラスプの機能を学ぶ			
4	5/8	水	ワイヤーネックチョーカー②	チョーカーの制作			
5	5/15	水	チェーンメールジュエリー③	必要な工具を用意する			
6	5/22	水	チェーンメールジュエリー④	クラスプのデザイン			
7	5/29	水	チェーンメールジュエリー⑤	クラスプの作成			
8	6/5	水	チェーンメールジュエリー⑥	線材が用意でき次第、丸カンの作成			
9	6/12	水	チェーンメールジュエリー⑦	〃			
10	6/19	水	チェーンメールジュエリー⑧	組み立て			
11	6/26	水	チェーンメールジュエリー⑨	〃			
12	7/3	水	チェーンメールジュエリー⑩	クラスプの作成			
13	7/10	水	チェーンメールジュエリー⑪	〃			
14	7/17	水	チェーンメールジュエリー⑫	完成、講評、ブラッシュアップ			
■履修上の注意事項 制作の説明、注意点をよく聞くこと							
■評価方法 正確さ、完成度、デザイン、レポート、授業態度、出席率などを総合的に評価							
■教科書、教材 図書「Classic Chain Mail Jewelry」、「Classic Chain Mail Jewelry WITH A TWIST」、「Chain Mail Jewelry」							
■授業時間以外の学習 クラフトやアートなど様々な事に興味を持ち、よく見ること 様々な線材による造形物に注意を向ける							
■教員紹介 山脇卒業後、ジュエリー企業2社に勤務後フリーランス クラフト、デザイン、サービス開発に携わる							
■その他							

JD	授業科目名	担当講師	学期	午前/午後	必修/選択	授業形態	時間数
3年	ジュエリー造形3	富永 文	後期前半	午前	必修	実技	42
■授業内容 ジョイントのデザイン性を考えたネックレスを制作する							
■到達目標 ジョイント部分の仕組みを理解し、作品に生かす							
■授業計画							
	月日	曜日	授業項目	内容	教室	備考	
1	9/18	水	ジョイント部分の研究	どのようなジョイントがあるか調べる	2		
2	9/25	水	デザイン	ネックレスのデザインを決める			
3	10/2	水	ジョイント試作	ジョイント部分はどの方法を取り入れるか決め、試作する			
4	10/9	水	ネックレス制作①	ネックレスの制作に取りかかる			
5	10/16	水	ネックレス制作②	〃			
6	10/23	水	ネックレス制作③	〃			
7	10/30	水	ネックレス制作④	〃			
8	11/6	水	ネックレス制作⑤	〃			
9	11/13	水	ネックレス制作⑥	〃			
10	11/20	水	ネックレス制作⑦	〃			
11	11/27	水	ネックレス制作⑧	〃			
12	12/4	水	ネックレス制作⑨	〃			
13	12/11	水	ネックレス制作⑩	〃			
14	12/18	水	ネックレス制作⑪	講評、ブラッシュアップ			
■履修上の注意事項							
■評価方法 作品の完成度(機能性に優れ、美的な作品であるか) レポート、授業態度、出席率などを総合的に評価							
■教科書、教材 銀、銅							
■授業時間以外の学習 製品などのジョイント部分を気を付けて見る							
■教員紹介 山脇卒業後、ジュエリー企業2社に勤務後フリーランス クラフト、デザイン、サービス開発に携わる							
■その他							

JD	授業科目名	担当講師	学期	午前/午後	必修/選択	授業形態	時間数
3年	日本伝統彫金3	藤江 聖公	前期	午後	必修	実技	42
■授業内容 金属を伸縮する為の技術修得、及び道具選びの修得							
■到達目標 日本伝統彫金について深く理解し、技術を体得し、創作に生かす							
■授業計画							
	月日	曜日	授業項目	内容	教室	備考	
1	4/18	木	制作①	デザインする	1・2		
2	4/25	木	制作②	素材を決める、工法を決める			
3	5/2	木	制作③	制作			
4	5/9	木	制作④	〃			
5	5/16	木	制作⑤	〃			
6	5/23	木	制作⑥	〃			
7	6/6	木	制作⑦	〃			
8	6/13	木	制作⑧	〃			
9	6/20	木	制作⑨	〃			
10	6/27	木	制作⑩	〃			
11	7/4	木	制作⑪	〃			
12	7/11	木	制作⑫	色上げ、仕上げ			
13	7/18	木	制作⑬	まとめ			
14	7/25	木	制作⑭	講評、レポート			
■履修上の注意事項 火及び、薬品の取り扱いに注意 失敗しても最後まで作り上げる事							
■評価方法 課題の完成度、出席率、理解度を合わせ、総合的に評価							
■教科書、教材 銀線、銅線							
■授業時間以外の学習 毎日練習、展覧会などの見学 / 作家アトリエへ訪問 / レポートにまとめる							
■教員紹介 彫金工房勤務ののち独立、彫金作家として活動 工芸会会員							
■その他							

JD	授業科目名	担当講師	学期	午前/午後	必修/選択	授業形態	時間数
3年	日本伝統彫金3	藤江 聖公	後期前半	午後	必修	実技	42
<p>■授業内容 物をしっかり観察する目を養い、成形する為の技術を修得、及び色金の組み合わせを修得</p> <p>■到達目標 体得した日本の伝統技法を生かし、完成度とデザイン性の高い作品を仕上げる</p>							
■授業計画							
	月日	曜日	授業項目	内容	教室	備考	
1	9/19	木	彫金作品①	デザインする、2つの課題の説明(2班に分ける)	1・2		
2	9/26	木	彫金作品②	A班:ぐい呑み、B班:刻印 / 2班に分かれて制作開始			
3	10/3	木	彫金作品③	〃			
4	10/10	木	彫金作品④	〃			
5	10/17	木	彫金作品⑤	〃			
6	10/24	木	彫金作品⑥	〃			
7	10/31	木	彫金作品⑦	A班:刻印、B班:ぐい呑み / 課題交代して制作開始			
8	11/7	木	彫金作品⑧	〃			
9	11/14	木	彫金作品⑨	〃			
10	11/21	木	彫金作品⑩	〃			
11	11/28	木	彫金作品⑪	仕上げに向け両課題の作業をする			
12	12/5	木	彫金作品⑫	(ぐい呑みの表面などを加飾する)			
13	12/12	木	彫金作品⑬	色上げ、仕上げ			
14	12/19	木	彫金作品⑭	まとめ、講評、レポート			
<p>■履修上の注意事項 火及び、薬品の取り扱いに注意 失敗しても最後まで作り上げる事</p> <p>■評価方法 課題の完成度、出席率、理解度を合わせ、総合的に評価</p> <p>■教科書、教材 銀線、銅線</p> <p>■授業時間以外の学習 毎日練習、展覧会などの見学 作家アトリエへ訪問 レポートにまとめる</p> <p>■教員紹介 彫金工房勤務ののち独立、彫金作家として活動 工芸会会員</p> <p>■その他</p>							

JD	授業科目名	担当講師	学期	午前/午後	必修/選択	授業形態	時間数
3年	ストーンセッティング3	田村 晴子	後期前半	午後	必修	実技	42
■授業内容 「ティファニーセッティング」の仕組み、留め方を学ぶ 「連座」を理解し、石座同士が接する場合の留め方を学ぶ 全体のデザインに合ったオリジナリティのある留め方を考える							
■到達目標 1、2年次より難易度が高い石留めが出来るようになり、その技術が創作時に効果的に使えるようにする 旋盤の使い方を理解し、石座の制作に応用する							
■授業計画							
	月日	曜日	授業項目	内容	教室	備考	
1	9/17	火	石座講座	講義、連座(割り爪、共有爪)	2		
2	10/1	火	ティファニー爪/連座①	講義、旋盤デモンストレーション			
3	10/15	火	ティファニー爪/連座②	〃			
4	10/22	火	ティファニー爪/連座③	〃			
5	10/29	火	ティファニー爪/連座④				
6	11/5	火	ティファニー爪/連座⑤	石留め、仕上げ			
7	11/12	火	ティファニー爪/連座⑥	講評			
8	11/19	火	オリジナルセッティング①	制作			
9	11/26	火	オリジナルセッティング②	〃			
10	12/3	火	オリジナルセッティング③	〃			
11	12/10	火	オリジナルセッティング④	〃			
12	12/17	火	オリジナルセッティング⑤	〃			
13	12/24	火	オリジナルセッティング⑥	〃			
14	1/9	火	オリジナルセッティング⑦	講評、ブラッシュアップ			
■履修上の注意事項 石の紛失があるので、机周りを片付けておく							
■評価方法 仕組みの理解度＋石留めの仕上がり＋作品の質：60% 授業態度＋授業進度＋提出期限：10% / レポート：30%							
■教科書、教材							
■授業時間以外の学習 見学、レポート、デザイン							
■教員紹介 ジュエリーブランド勤務後、フィレンツェにてフィレンツェ彫りを修学 帰国後自身のブランドを発表、作家活動(彫金、ジュエリー)							
■その他							

JD	授業科目名	担当講師	学期	午前/午後	必修/選択	授業形態	時間数		
3年	集中講義3	中安・西	前期	午後	必修	演習/実技	42		
■授業内容 七宝、キャストの高度なテクニックを学ぶ									
■到達目標 ジュエリー制作にまつわる様々な技術を効果的に使用し、創作に生かす									
■授業計画									
	月日	曜日	授業項目	内容	教室	備考			
1	4/16	火	七宝応用①	説明デザイン	2	中安 麗			
2	4/23	火	七宝応用②	デザイン、制作方法決定、ベース制作(宿題)					
3	4/30	火	七宝応用③	焼成	1・2				
4	5/7	火	七宝応用④	〃					
5	5/14	火	七宝応用⑤	〃					
6	5/21	火	七宝応用⑥	〃					
7	5/28	火	キャスト①	デザイン決定	2			西 由三	
8	6/4	火	キャスト②	原型制作(宿題)					
9	6/11	火	七宝応用⑦	焼成	1・2			中安 麗	
10	6/18	火	七宝応用⑧	講評	2				
11	6/28	金	キャスト③	原型修正	2			西 由三	
12	6/28	金	キャスト④	インジェクション、発注準備	2・5				
13	7/9	火	キャスト⑤	〃					
14	7/23	火	キャスト⑥	ゴム切り、インジェクション					
■履修上の注意事項 危険を伴う授業があります、講師の指示をよく聞きましょう キャスト:夏休み中に各自キャストの外注をしておく									
■評価方法 体験内容、レポート、授業態度、出席率などを総合的に評価									
■教科書、教材									
■授業時間以外の学習									
■教員紹介 中安 麗 / 作家(七宝、ジュエリー) 西 由三 / 作家(金工、鑄造)									
■その他									

JD	授業科目名	担当講師	学期	午前/午後	必修/選択	授業形態	時間数
3年	集中講義3	松尾・西	後期前半	午後	必修	演習/実技	42
■授業内容 キャスティング、CADの高度なテクニックを学ぶ							
■到達目標 ジュエリー制作にまつわる様々な技術を効果的に使用し、創作に生かす							
■授業計画							
	月日	曜日	授業項目	内容	教室	備考	
1	9/17	火	CAD①	Rhinoserosの基本操作	9	松尾 秀司	
2	10/1	火	CAD②	曲線の描写			
3	10/15	火	CAD③	曲線の編集			
4	10/22	火	CAD④	立体の作成(平打ちリング)			
5	10/29	火	キャスト⑦	仕上げ、講評	2	西 由三	
6	11/5	火	CAD⑤	立体の編集①(月甲丸リング)	9	松尾 秀司	
7	11/12	火	CAD⑥	立体の編集①(パーツ各種)			
8	11/19	火	CAD⑦	ジュエリーモデリング①(エタニティーリング)			
9	11/26	火	CAD⑧	オリジナルジュエリーの制作(造形課題)			
10	12/3	火	CAD⑨	オリジナルジュエリーの制作(造形課題)			
11	12/10	火	CAD⑩	ジュエリーモデリング②石座各種(造形課題)			
12	12/17	火	CAD⑪	ジュエリーモデリング③(シームレスリング)			
13	12/24	火	CAD⑫	RhinoserosとIllustrator、Photoshopとの連携(製図とレンダリング)			
14	1/9	火	CAD⑬	講評			
■履修上の注意事項 CAD: CADによるモデリング作業前にデザインを決めておくこと、データの保存をこまめに行うこと							
■評価方法 体験内容、レポート、授業態度、出席率などを総合的に評価 CAD: 作成したデータが宝飾品としての実用性があり、鑄造後の加工性を損なわないものであること ジュエリーとしての使用に耐えうる強度や構造を持ったデータの作成をすること 様々なコマンドを使用して可能性を探る							
■教科書、教材 CAD: オリジナルテキスト							
■授業時間以外の学習 CAD: モデリングの方法が多種あるので、ソフトの解説書などを用い自力で調べる 特に精密なレリーフなど希望する学生はポリゴンの処理など理解する、空き時間を利用して可能な限り取り組む							
■教員紹介 西 由三 / 作家(金工、鑄造) 松尾 秀司 / ジュエリープランナー							
■その他 CADデータ出力料金、鑄造料金は個人差があるため各自負担(一部クラス費補助あり)							

JD	授業科目名	担当講師	学期	午前/午後	必修/選択	授業形態	時間数
3年	日本伝統彫金研究	藤江 聖公	前期	午前	選択	実技	168
■授業内容 金具の制作を通して、日本の伝統的な色がねや技法について学ぶ							
■到達目標 日本の伝統彫金についての理解と、技術を高める 平象嵌の技法の習得及び、高肉打ち出し							
■授業計画							
	月日	曜日	授業項目	内容	教室	備考	
1	4/18	木	研究①	鑿作り	2		
2	4/25	木	研究②	〃			
3	5/2	木	研究③	平象嵌の練習			
4	5/9	木	研究④	〃			
5	5/16	木	制作①	作品制作(打ち出したものに象嵌をする)			
6	5/23	木	制作②	〃			
7	6/6	木	制作③	〃			
8	6/13	木	制作④	〃			
9	6/20	木	制作⑤	〃			
10	6/27	木	制作⑥	〃			
11	7/4	木	制作⑦	〃			
12	7/11	木	制作⑧	〃			
13	7/18	木	制作⑨/企業連携授業	「色上げ」			
14	7/25	木	制作⑩	仕上げ・講評・ブラッシュアップ			
■履修上の注意事項 やけど、薬品の取り扱い注意、最後まで作り上げる事							
■評価方法 課題の完成度、出席率、理解度を合わせ、総合的に評価							
■教科書、教材							
■授業時間以外の学習 展覧会、作家アトリエ訪問など							
■教員紹介 彫金工房勤務ののち独立、彫金作家として活動 工芸会会員							
■その他 時間数168時間の内、42時間(授業回数14回×3時限)は上記の通り担当講師が出校対応 それ以外の126時間は上記の授業計画に準じて制作を行い、スケジュールの自己管理を図る							

JD	授業科目名	担当講師	学期	午前/午後	必修/選択	授業形態	時間数
3年	日本伝統彫金研究	藤江 聖公	後期前半	午前	選択	実技	168
<p>■授業内容 器物の制作を通して、日本の伝統的な色がねや技法について学ぶ</p> <p>■到達目標 日本の伝統彫金を用い、集大成として卒業制作に取り組む</p>							
■授業計画							
	月日	曜日	授業項目	内容	教室	備考	
1	9/19	木	プランニング(器物)	自分で器を作り、加飾をする	2		
2	9/26	木	デザイン	デザイン決定			
3	10/3	木	工具、資材手配	鑿制作、地金準備			
4	10/10	木	制作①	作品制作			
5	10/17	木	制作②	〃			
6	10/24	木	制作③	〃			
7	10/31	木	制作④	〃			
8	11/7	木	制作⑤	〃			
9	11/14	木	制作⑥	〃			
10	11/21	木	制作⑦	〃			
11	11/28	木	制作⑧	〃			
12	12/5	木	制作⑨	〃			
13	12/12	木	制作⑩	〃			
14	12/19	木	制作⑪	〃			
<p>■履修上の注意事項 やけど、薬品の取り扱い注意、最後まで作り上げる事</p> <p>■評価方法 課題の完成度、出席率、理解度を合わせ、総合的に評価</p> <p>■教科書、教材</p> <p>■授業時間以外の学習 展覧会、作家アトリエ訪問など</p> <p>■教員紹介 彫金工房勤務ののち独立、彫金作家として活動 工芸会会員</p> <p>■その他 時間数168時間の内、42時間(授業回数14回×3時限)は上記の通り担当講師が出校対応 それ以外の126時間は上記の授業計画に準じて制作を行い、スケジュールの自己管理を図る</p>							

JD	授業科目名	担当講師	学期	午前/午後	必修/選択	授業形態	時間数
3年	ジュエリー制作のための素材研究	田村 晴子	前期	午前	選択	実技	168
<p>■授業内容</p> <p>ジュエリー及びアクセサリー制作における造形用素材の研究をテーマとして取り組む 各種材料の加工方法や効果的な使用方法等を研究し、各自の表現手段の幅を広げることを目的とする (外注による制作方法も視野に入れる)</p> <p>■到達目標</p> <p>後期カリキュラムに向けて、素材と技法のサンプリングを行う</p>							
■授業計画							
	月日	曜日	授業項目	内容		教室	備考
1	4/17	水	研究Ⅰ①	素材Ⅰ:原型①		1	
2	4/24	水	研究Ⅰ②	原型②			
3	5/1	水	研究Ⅰ③	金属パーツ作成①			
4	5/8	水	研究Ⅰ④	" ②			
5	5/15	水	研究Ⅰ⑤	" ③			
6	5/22	水	研究Ⅰ⑥	型取り方法			
7	5/29	水	研究Ⅰ⑦	型取り			
8	6/5	水	研究Ⅱ①	流し込み			
9	6/12	水	研究Ⅱ②	表面処理①			
10	6/19	水	研究Ⅱ③	" ②			
11	6/26	水	研究Ⅱ④	組み立て①			
12	7/3	水	研究Ⅱ⑤	" ②			
13	7/10	水	研究Ⅱ⑥	仕上げ			
14	7/17	水	研究Ⅱ⑦	講評・ブラッシュアップ			
<p>■履修上の注意事項</p> <p>素材等の購入費は、個人差があるため個人負担とします</p> <p>■評価方法</p> <p>課題評価(作品に対しての評価、完成度)、レポート、授業態度、出席率などを総合的に評価</p> <p>■教科書、教材</p> <p>■授業時間以外の学習</p> <p>■教員紹介</p> <p>ジュエリーブランド勤務後、フィレンツェにてフィレンツェ彫りを修学 帰国後自身のブランドを発表、作家活動(彫金、ジュエリー)</p> <p>■その他</p> <p>時間数168時間の内、42時間(授業回数14回×3時限)は上記の通り担当講師が出校対応 それ以外の126時間は上記の授業計画に準じて制作を行い、スケジュールの自己管理を図る</p>							

JD	授業科目名	担当講師	学期	午前/午後	必修/選択	授業形態	時間数																																																																															
3年	ジュエリー制作のための素材研究	田村 晴子	後期前半	午後	選択	実技	168																																																																															
<p>■授業内容</p> <p>前期での成果を基に、各自が取り組む素材を用い、ジュエリー、クラフト作品の制作に取り組む</p> <p>■到達目標</p> <p>各自で取り組む素材を選択し、制作テーマを決定 完成度を伴った作品制作を目指す (提出はテーマ、ボリューム等にもよるが、基本的に2点以上とする)</p>																																																																																						
<p>■授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>月日</th> <th>曜日</th> <th>授業項目</th> <th>内容</th> <th>教室</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>9/18</td><td>水</td><td>制作①</td><td rowspan="14">素材研究に基づく作品制作 受講生の選択した素材によって内容が異なるため、各自で制作計画を立てて取り組む</td><td rowspan="14">1</td><td></td></tr> <tr><td>2</td><td>9/25</td><td>水</td><td>制作②</td><td></td></tr> <tr><td>3</td><td>10/2</td><td>水</td><td>制作③</td><td></td></tr> <tr><td>4</td><td>10/9</td><td>水</td><td>制作④</td><td></td></tr> <tr><td>5</td><td>10/16</td><td>水</td><td>制作⑤</td><td></td></tr> <tr><td>6</td><td>10/23</td><td>水</td><td>制作⑥</td><td></td></tr> <tr><td>7</td><td>10/30</td><td>水</td><td>制作⑦</td><td></td></tr> <tr><td>8</td><td>11/6</td><td>水</td><td>制作⑧</td><td></td></tr> <tr><td>9</td><td>11/13</td><td>水</td><td>制作⑨</td><td></td></tr> <tr><td>10</td><td>11/20</td><td>水</td><td>制作⑩</td><td></td></tr> <tr><td>11</td><td>11/27</td><td>水</td><td>制作⑪</td><td></td></tr> <tr><td>12</td><td>12/4</td><td>水</td><td>制作⑫</td><td></td></tr> <tr><td>13</td><td>12/11</td><td>水</td><td>制作⑬</td><td></td></tr> <tr><td>14</td><td>12/18</td><td>水</td><td>制作⑭</td><td></td></tr> </tbody> </table>									月日	曜日	授業項目	内容	教室	備考	1	9/18	水	制作①	素材研究に基づく作品制作 受講生の選択した素材によって内容が異なるため、各自で制作計画を立てて取り組む	1		2	9/25	水	制作②		3	10/2	水	制作③		4	10/9	水	制作④		5	10/16	水	制作⑤		6	10/23	水	制作⑥		7	10/30	水	制作⑦		8	11/6	水	制作⑧		9	11/13	水	制作⑨		10	11/20	水	制作⑩		11	11/27	水	制作⑪		12	12/4	水	制作⑫		13	12/11	水	制作⑬		14	12/18	水	制作⑭	
	月日	曜日	授業項目	内容	教室	備考																																																																																
1	9/18	水	制作①	素材研究に基づく作品制作 受講生の選択した素材によって内容が異なるため、各自で制作計画を立てて取り組む	1																																																																																	
2	9/25	水	制作②																																																																																			
3	10/2	水	制作③																																																																																			
4	10/9	水	制作④																																																																																			
5	10/16	水	制作⑤																																																																																			
6	10/23	水	制作⑥																																																																																			
7	10/30	水	制作⑦																																																																																			
8	11/6	水	制作⑧																																																																																			
9	11/13	水	制作⑨																																																																																			
10	11/20	水	制作⑩																																																																																			
11	11/27	水	制作⑪																																																																																			
12	12/4	水	制作⑫																																																																																			
13	12/11	水	制作⑬																																																																																			
14	12/18	水	制作⑭																																																																																			
<p>■履修上の注意事項</p> <p>素材等の購入費は、個人差があるため個人負担とします</p> <p>■評価方法</p> <p>課題評価(作品に対しての評価、完成度)、レポート、授業態度、出席率などを総合的に評価</p> <p>■教科書、教材</p> <p>■授業時間以外の学習</p> <p>■教員紹介</p> <p>ジュエリーブランド勤務後、フィレンツェにてフィレンツェ彫りを修学 帰国後自身のブランドを発表、作家活動(彫金、ジュエリー)</p> <p>■その他</p> <p>時間数168時間の内、42時間(授業回数14回×3時限)は上記の通り担当講師が出校対応 それ以外の126時間は上記の授業計画に準じて制作を行い、スケジュールの自己管理を図る</p>																																																																																						

JD	授業科目名	担当講師	学期	午前/午後	必修/選択	授業形態	時間数
3年	コンテンポラリージュエリー	小林 京和	前期	午後	選択	実技	168
■授業内容 自由な発想によるオリジナルジュエリーの制作							
■到達目標 既成概念を取払い、新しいジュエリーを提案する							
■授業計画							
	月日	曜日	授業項目	内容	教室	備考	
1	4/10	水	オリエンテーション	制作に関連した興味のある事を発表する	2		
2	4/15	月	オリジナルジュエリー制作Ⅰ①	チタンのジュエリー制作			
3	4/22	月	オリジナルジュエリー制作Ⅰ②	〃			
4	5/13	月	オリジナルジュエリー制作Ⅰ③	〃			
5	5/20	月	オリジナルジュエリー制作Ⅰ④	〃			
6	5/27	月	オリジナルジュエリー制作Ⅰ⑤	仕上げ			
7	6/3	月	オリジナルジュエリー制作Ⅰ⑥	講評・ブラッシュアップ			
8	6/10	月	オリジナルジュエリー制作Ⅱ①	音のジュエリー制作			
9	6/17	月	オリジナルジュエリー制作Ⅱ②	〃			
10	6/24	月	オリジナルジュエリー制作Ⅱ③	〃			
11	7/1	月	オリジナルジュエリー制作Ⅱ④	〃			
12	7/8	月	オリジナルジュエリー制作Ⅱ⑤	〃			
13	7/16	月	オリジナルジュエリー制作Ⅱ⑥	仕上げ			
14	7/22	月	オリジナルジュエリー制作Ⅱ⑦	講評・ブラッシュアップ			
■履修上の注意事項							
■評価方法 課題作品への取り組む姿勢、オリジナリティー、完成度などを総合的に評価							
■教科書、教材							
■授業時間以外の学習 多くの事や物に関心を持つ							
■教員紹介 作家(ジュエリー、金工)、国内外で作品発表 様々な造形方法、またそれに必要な治具の制作、発想を指導							
■その他 時間数168時間の内、42時間(授業回数14回×3時限)は上記の通り担当講師が出校対応 それ以外の126時間は上記の授業計画に準じて制作を行い、スケジュールの自己管理を図る							

JD	授業科目名	担当講師	学期	午前/午後	必修/選択	授業形態	時間数
3年	コンテンポラリージュエリー	小林 京和	後期前半	午後	選択	実技	168
■授業内容 前期作品をふまえて「音をテーマにしたジュエリー」を卒業制作として作る							
■到達目標 前期作品の反省点を考え完成度を高める							
■授業計画							
	月日	曜日	授業項目	内容	教室	備考	
1	9/12	木	オリジナルジュエリー制作①	前期作品の反省と抱負の発表・意見交換	2		
2	9/24	火	オリジナルジュエリー制作②	デザインング			
3	9/30	月	オリジナルジュエリー制作③	プランニング			
4	10/7	月	オリジナルジュエリー制作④	デザインプレゼン準備			
5	10/21	月	オリジナルジュエリー制作⑤	資材調達			
6	10/28	月	オリジナルジュエリー制作⑥	制作			
7	11/11	月	オリジナルジュエリー制作⑦	〃			
8	11/18	月	オリジナルジュエリー制作⑧	〃			
9	11/25	月	オリジナルジュエリー制作⑨	〃			
10	12/2	月	オリジナルジュエリー制作⑩	〃			
11	12/9	月	オリジナルジュエリー制作⑪	〃			
12	12/16	月	オリジナルジュエリー制作⑫	〃			
13	12/23	月	オリジナルジュエリー制作⑬	〃			
14	1/9	木	オリジナルジュエリー制作⑭	講評・ブラッシュアップ			
■履修上の注意事項							
■評価方法 課題作品への取り組む姿勢、オリジナリティー、完成度などを総合的に評価							
■教科書、教材							
■授業時間以外の学習 多くの事や物に関心を持つ							
■教員紹介 作家(ジュエリー、金工)、国内外で作品発表 様々な造形方法、またそれに必要な治具の制作、発想を指導							
■その他 時間数168時間の内、42時間(授業回数14回×3時限)は上記の通り担当講師が出校対応 それ以外の126時間は上記の授業計画に準じて制作を行い、スケジュールの自己管理を図る							

JD	授業科目名	担当講師	学期	午前/午後	必修/選択	授業形態	時間数
3年	ブランディング	後藤 晶代	前期	午前	選択	演習/講義	168
■授業内容 市場を研究し、ジュエリーが出来る背景を学習する ブランドの研究 ■到達目標 後期に立ち上げる各自のブランドのプランニング							
■授業計画							
	月日	曜日	授業項目	内容	教室	備考	
1	4/10	水	市場調査について①	ガイダンス	1・2		
2	4/15	月	市場調査について②	マーケットリサーチ(新宿、銀座、青山など)			
3	4/22	月	ブランディングについて①	講義			
4	5/13	月	ブランディングについて②	〃			
5	5/20	月	ブランディングについて③	ワーク			
6	5/27	月	ブランディングについて④	〃			
7	6/3	月	市場調査	季節やイベントにより市場が変化することを知る			
8	6/10	月	プランニング①	市場や消費マインドを加味し、オリジナルブランドの方向性を絞る			
9	6/17	月	プランニング②	〃			
10	6/24	月	プランニング③	〃			
11	7/1	月	プランニング④	オリジナルブランドの企画			
12	7/8	月	プランニング⑤	オリジナルブランドのプレスリリースポスターの作成			
13	7/16	月	プランニング⑥	〃			
14	7/22	月	プランニング⑦	〃			
■履修上の注意事項 常に市場を意識するという習慣をつける 様々な情報が入りやすくしておく ■評価方法 提出物(課題+レポート):90% / 授業態度:10% ■教科書、教材 ■授業時間以外の学習 夏休みにデザイン宿題(100型ラフデザイン) ■教員紹介 ジュエリーブランドに勤務(企画)後、自身のブランドを発表 コスメブランド(マーケティング企画)にも携わる ■その他 時間数168時間の内、42時間(授業回数14回×3時限)は上記の通り担当講師が出校対応 それ以外の126時間は上記の授業計画に準じて制作を行い、スケジュールの自己管理を図る							

JD	授業科目名	担当講師	学期	午前/午後	必修/選択	授業形態	時間数
3年	ブランディング	後藤 晶代	後期前半	午前	選択	実技/講義	168
■授業内容 市場を熟考した上で、ジュエリーをデザインする シリーズで作成し、販売促進までを研究する(HP、DM、POP、ディスプレイ)							
■到達目標 卒業制作としてオリジナルブランドを立ち上げる							
■授業計画							
	月日	曜日	授業項目	内容	教室	備考	
1	9/12	木	オリジナルブランド①	企画する	2		
2	9/24	火	オリジナルブランド②	デザインする			
3	9/30	月	オリジナルブランド③	制作する			
4	10/7	月	オリジナルブランド④	〃			
5	10/21	月	オリジナルブランド⑤	〃			
6	10/28	月	オリジナルブランド⑥	〃			
7	11/11	月	オリジナルブランド⑦	マーケットリサーチ(クリスマス)			
8	11/18	月	オリジナルブランド⑧	制作する			
9	11/25	月	オリジナルブランド⑨	〃			
10	12/2	月	オリジナルブランド⑩	〃			
11	12/9	月	オリジナルブランド⑪	販売グッズを考える、用意する			
12	12/16	月	オリジナルブランド⑫	〃			
13	12/23	月	オリジナルブランド⑬	販売戦略について考える			
14	1/9	木	オリジナルブランド⑭	まとめ			
■履修上の注意事項 常に市場を意識するという習慣をつける							
■評価方法 提出物(課題+レポート):90% / 授業態度:10%							
■教科書、教材							
■授業時間以外の学習							
■教員紹介 ジュエリーブランドに勤務(企画)後、自身のブランドを発表 コスメブランド(マーケティング企画)にも携わる							
■その他 オリジナルブランドを立ち上げる(今の市場や製造の環境にあった上代下代を算出した上で商品構成を決め、商品としての制作、ディスプレイツールやSNSのサイトなどまで指導する) 時間数168時間の内、42時間(授業回数14回×3時限)は上記の通り担当講師が出校対応 それ以外の126時間は上記の授業計画に準じて制作を行い、スケジュールの自己管理を図る							

JD	授業科目名	担当講師	学期	午前/午後	必修/選択	授業形態	時間数
3年	卒業制作	複数講師	後期後半	午前・午後	必修	実技	150
<p>■授業内容 卒業制作として、3年間で学んだ内容の集大成となる大作に取り組む</p> <p>■到達目標 表現したい世界観を適した技法を用い、計画的に完成度高く仕上げる</p>							
■授業計画							
授業回数	時間数	授業項目	内容		教室	備考	
1 2	6	企画プレゼン	・卒業制作作品のプレゼンテーション		7	複数講師	
3 38	108	卒業制作	・作品制作 ・展示計画 ・合評会準備		2	各選択授業 担当講師	
39 42	12	合評会	・作品のプレゼンテーション ・講師による講評		ギャラリー	複数講師	
43 50	24	卒業制作ブラッシュアップ	・合評会での講師による講評を受け、完成度を高める ・卒業進級制作作品展のための作品展示準備		2	富永、 各担当講師	
<p>■履修上の注意事項 多くの人に意見を頂く</p> <p>■評価方法 理解度＋作品の完成度、授業態度＋授業進度＋提出期限、プレゼンテーション＋レポート</p> <p>■教科書、教材</p> <p>■授業時間以外の学習 国内外のジュエリー作品、工芸品、又はそれらが載る書籍に触れる機会を多く持つ</p> <p>■教員紹介 複数講師により、他の授業の教員紹介に準ずる</p> <p>■その他</p>							

JD	授業科目名	担当講師	学期	午前/午後	必修/選択	授業形態	時間数
3年	レポート&ファイル制作・見学・就職講座3	富永文	前期	午後	必修	演習/実技	42
■授業内容 授業で制作した課題についてレポートを作成する、見学、授業フォロー 就活に役立つポートフォリオ作り、就活フォロー 山脇祭準備							
■到達目標 就職活動をする 社会人になるにあたり必要になる知識、情報をインプットする							
■授業計画							
	月日	曜日	授業項目	内容	教室	備考	
1	4/12	金	就職講座3①				
2	4/19	金	制作	各授業課題のフォローアップ	2		
3	4/26	金	制作	〃			
4	5/10	金	就職講座3②				
5	5/17	金	制作	各授業課題のフォローアップ	2		
6	5/24	金	見学①	日本金工展の見学			
7	6/7	金	就職講座3③				
8	6/14	金	卒業生懇談会①	従事している仕事や就職活動について	7		
9	6/21	金	制作	各授業課題のフォローアップ	2		
10	7/2	火	見学②	ジュエリー展、マーケットリサーチなどの見学			
11	7/5	金	就職講座3④				
12	7/12	金	制作	各授業課題のフォローアップ	2		
13	7/19	金	制作	〃			
14	7/24	水	企業連携授業	「知的財産権入門講座」	7		
■履修上の注意事項							
■評価方法 出席率、レポート、取り組みを合わせ、総合的に評価							
■教科書、教材							
■授業時間以外の学習							
■教員紹介 山脇卒業後、ジュエリー企業2社に勤務後フリーランス クラフト、デザイン、サービス開発に携わる							
■その他							

JD	授業科目名	担当講師	学期	午前/午後	必修/選択	授業形態	時間数
3年	レポート&ファイル制作・見学・就職講座3	富永 文	後期前半	午後	必修	演習/実技	42
■授業内容 授業で制作した課題についてレポートを作成する、見学、授業フォロー 就活に役立つポートフォリオ作り、就活フォロー ■到達目標 就職活動をする 社会人になるにあたり必要になる知識、情報をインプットする							
■授業計画							
	月日	曜日	授業項目	内容	教室	備考	
1	9/13	金	就職講座3⑤				
2	9/20	金	制作	各授業課題のフォローアップ	2		
3	9/27	金	制作	〃			
4	10/4	金	制作	〃			
5	10/8	火	1、2年生企画プレゼン	進級制作企画プレゼンテーション	7 or ギャラリー		
6	11/8	金	制作	〃	2		
7	11/15	金	制作	〃			
8	11/22	金	制作	〃			
9	11/29	金	卒業生懇談会②	従事している仕事や就職活動について			
10	12/6	金	制作	各授業課題のフォローアップ	7		
11	12/13	金	制作	〃	2		
12	12/20	金	大掃除	大掃除			
13	1/10	金	見学③	国際宝飾展の見学			
14	1/17	金	制作	各授業課題のフォローアップ			
■履修上の注意事項 ■評価方法 出席率、レポート、取り組みを合わせ、総合的に評価 ■教科書、教材 ■授業時間以外の学習 ■教員紹介 山脇卒業後、ジュエリー企業2社に勤務後フリーランス クラフト、デザイン、サービス開発に携わる ■その他 14コマは3年生企画プレゼンテーションとの授業入れ替え分							

JD	授業科目名	担当講師	学期	午前/午後	必修/選択	授業形態	時間数
3年	研究制作3	富永 文	前期	午前	必修	実技	42
■授業内容 授業課題の予習復習、自主制作、見学、就職活動準備							
■到達目標 毎回の授業の目的を確認し、計画的に作業する 授業課題の予習復習、自主制作、見学、就職活動準備							
■授業計画							
	月日	曜日	授業項目	内容	教室	備考	
1	4/12	金	研究制作①	ガイダンス	2		
2	4/19	金	研究制作②	各授業課題のフォローアップ			
3	4/26	金	研究制作③	〃			
4	5/10	金	研究制作④/消防訓練	山脇祭ミーティングなど			
5	5/17	金	研究制作⑤	各授業課題のフォローアップ			
6	5/24	金	研究制作⑥/企業連携授業	「工場見学」			
7	6/7	金	研究制作⑦	各授業課題のフォローアップ			
8	6/14	金	研究制作⑧	〃			
9	6/21	金	研究制作⑨	〃			
10	6/25	火	研究制作⑩	〃			
11	7/5	金	研究制作⑪	〃			
12	7/12	金	研究制作⑫	〃			
13	7/19	金	研究制作⑬	〃			
14	7/24	水	研究制作⑭	〃			
■履修上の注意事項							
■評価方法 授業態度、出席率、取り組み姿勢を合わせ、総合的に評価							
■教科書、教材							
■授業時間以外の学習							
■教員紹介 山脇卒業後、ジュエリー企業2社に勤務後フリーランス クラフト、デザイン、サービス開発に携わる							
■その他							

JD	授業科目名	担当講師	学期	午前/午後	必修/選択	授業形態	時間数
3年	研究制作3	富永 文	後期前半	午前	必修	実技	42
■授業内容 授業課題の予習復習、自主制作、見学、就職活動準備							
■到達目標 毎回の授業の目的を確認し、計画的に作業する							
■授業計画							
	月日	曜日	授業項目	内容	教室	備考	
1	9/13	金	研究制作①	各授業課題のフォローアップ	2		
2	9/20	金	研究制作②	"			
3	9/27	金	研究制作③	"			
4	10/4	金	研究制作④	"			
5	10/8	火	研究制作⑤	1、2年生企画プレゼン	7 or ギャラリー		
6	11/8	金	研究制作⑥	各授業課題のフォローアップ	2		
7	11/15	金	研究制作⑦	"			
8	11/22	金	研究制作⑧	"			
9	11/29	金	研究制作⑨	"			
10	12/6	金	研究制作⑩	"			
11	12/13	金	研究制作⑪	"			
12	12/20	金	研究制作⑫	"			
13	1/10	金	研究制作⑬	"			
14	1/17	金	研究制作⑭	"			
■履修上の注意事項							
■評価方法 授業態度、出席率、取り組み姿勢を合わせ、総合的に評価							
■教科書、教材							
■授業時間以外の学習							
■教員紹介 山脇卒業後、ジュエリー企業2社に勤務後フリーランス クラフト、デザイン、サービス開発に携わる							
■その他 14コマは3年生企画プレゼンテーションとの授業入れ替え分							

就職講座・課外授業/3科共通

各科共通	授業科目名	担当講師	学期	午前/午後	必修/選択	授業形態	時間数																																																																																																		
1年	就職講座1	大岡 歩夢	前期/後期前半	午後	必修	演習/講義	27																																																																																																		
<p>■授業内容</p> <p>就活に関する基礎的な準備資料を早期に完成させる 経団連の新卒採用調査1位のコミュニケーションスキルを基礎、デジタル、実践、チームビルディングの観点から学ぶ</p> <p>■到達目標</p> <p>ビジネス基本ソフトの習得、ビジネススキルの習得、税金/保険/法律の基礎知識の習得 業界職種への考察とモチベーションの向上をはかる</p>																																																																																																									
<p>■授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>月日</th> <th>曜日</th> <th>授業項目</th> <th>内容</th> <th>教室</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>4/26</td> <td>金</td> <td>InternetとPC基礎</td> <td>インターネット/SNSの使い方と仕組み理解/ブラウザやメールの安全な使い方/ビジネスメールの文章構造/他</td> <td>対面 ギャラリー/他教室</td> <td>am VD pm SD,JD</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>5/24</td> <td>金</td> <td>Officeソフト習得</td> <td>Officeソフトの理解/ワードの使い方/ワードでの演習</td> <td>オンライン</td> <td>am</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>6/21</td> <td>金</td> <td>Officeソフト習得</td> <td>エクセルの仕組み理解/エクセルの使い方/エクセルでの演習</td> <td>オンライン</td> <td>am</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>7/29</td> <td>月</td> <td>Officeソフト習得</td> <td>パワーポイントの理解/パワーポイントの使い方/パワーポイントでの演習</td> <td>対面 ギャラリー/他教室</td> <td>am VD pm SD,JD</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>9/27</td> <td>金</td> <td>業界職種研究</td> <td>働く理由の理解/会社の仕組みを理解/会社の探し方/就職活動の実際のステップ/他</td> <td>対面 ギャラリー/他教室</td> <td>am VD pm SD,JD</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>10/18</td> <td>金</td> <td>ビジネススキル</td> <td>コミュニケーションの理解/会社におけるコミュニケーションの実態 報連相/自己紹介と他已紹介</td> <td>オンライン</td> <td>am</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>11/22</td> <td>金</td> <td>業界職種研究と自己適性</td> <td>仕事のやりがいと自己適性、業界特徴の理解</td> <td>対面 ギャラリー/他教室</td> <td>企業担当者対応</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>12/6</td> <td>金</td> <td>ビジネススキル</td> <td>オンラインコミュニケーションの基礎を理解する 実際のオンラインでのチームワークの演習を体験する</td> <td>オンライン</td> <td>am</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>1/17</td> <td>金</td> <td>ビジネススキル</td> <td>業界変化を理解する マーケティングとDX(デジタルトランスフォーメーション)の基礎知識</td> <td>対面 ギャラリー/他教室</td> <td>am VD pm SD,JD</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>									月日	曜日	授業項目	内容	教室	備考	1	4/26	金	InternetとPC基礎	インターネット/SNSの使い方と仕組み理解/ブラウザやメールの安全な使い方/ビジネスメールの文章構造/他	対面 ギャラリー/他教室	am VD pm SD,JD	2	5/24	金	Officeソフト習得	Officeソフトの理解/ワードの使い方/ワードでの演習	オンライン	am	3	6/21	金	Officeソフト習得	エクセルの仕組み理解/エクセルの使い方/エクセルでの演習	オンライン	am	4	7/29	月	Officeソフト習得	パワーポイントの理解/パワーポイントの使い方/パワーポイントでの演習	対面 ギャラリー/他教室	am VD pm SD,JD	5	9/27	金	業界職種研究	働く理由の理解/会社の仕組みを理解/会社の探し方/就職活動の実際のステップ/他	対面 ギャラリー/他教室	am VD pm SD,JD	6	10/18	金	ビジネススキル	コミュニケーションの理解/会社におけるコミュニケーションの実態 報連相/自己紹介と他已紹介	オンライン	am	7	11/22	金	業界職種研究と自己適性	仕事のやりがいと自己適性、業界特徴の理解	対面 ギャラリー/他教室	企業担当者対応	8	12/6	金	ビジネススキル	オンラインコミュニケーションの基礎を理解する 実際のオンラインでのチームワークの演習を体験する	オンライン	am	9	1/17	金	ビジネススキル	業界変化を理解する マーケティングとDX(デジタルトランスフォーメーション)の基礎知識	対面 ギャラリー/他教室	am VD pm SD,JD																												
	月日	曜日	授業項目	内容	教室	備考																																																																																																			
1	4/26	金	InternetとPC基礎	インターネット/SNSの使い方と仕組み理解/ブラウザやメールの安全な使い方/ビジネスメールの文章構造/他	対面 ギャラリー/他教室	am VD pm SD,JD																																																																																																			
2	5/24	金	Officeソフト習得	Officeソフトの理解/ワードの使い方/ワードでの演習	オンライン	am																																																																																																			
3	6/21	金	Officeソフト習得	エクセルの仕組み理解/エクセルの使い方/エクセルでの演習	オンライン	am																																																																																																			
4	7/29	月	Officeソフト習得	パワーポイントの理解/パワーポイントの使い方/パワーポイントでの演習	対面 ギャラリー/他教室	am VD pm SD,JD																																																																																																			
5	9/27	金	業界職種研究	働く理由の理解/会社の仕組みを理解/会社の探し方/就職活動の実際のステップ/他	対面 ギャラリー/他教室	am VD pm SD,JD																																																																																																			
6	10/18	金	ビジネススキル	コミュニケーションの理解/会社におけるコミュニケーションの実態 報連相/自己紹介と他已紹介	オンライン	am																																																																																																			
7	11/22	金	業界職種研究と自己適性	仕事のやりがいと自己適性、業界特徴の理解	対面 ギャラリー/他教室	企業担当者対応																																																																																																			
8	12/6	金	ビジネススキル	オンラインコミュニケーションの基礎を理解する 実際のオンラインでのチームワークの演習を体験する	オンライン	am																																																																																																			
9	1/17	金	ビジネススキル	業界変化を理解する マーケティングとDX(デジタルトランスフォーメーション)の基礎知識	対面 ギャラリー/他教室	am VD pm SD,JD																																																																																																			
<p>■履修上の注意事項</p> <p>オンラインでの履修は、Macのカメラを必ずONにしてください。 動作安定性向上のため、事前にZOOMおよびChromeは起動して、アップデート/再起動をしておいてください。</p> <p>■評価方法</p> <p>授業態度(オンラインの場合、特段の理由がない限りカメラがオフの場合は欠席と見なします) 出席率 課題提出</p> <p>■教科書、教材</p> <p>GoogleClassroom経由で適時配布</p> <p>■授業時間以外の学習</p> <p>配付資料による復習</p> <p>■教員紹介</p> <p>日本印刷技術協会 認定講師、提案型ウェブアナリスト、一般社団法人 日本ウェブアクセシビリティ協会 理事 大手建材メーカー、大手食品FC、大手広告代理店、大手家電メーカー、大手商社、海外家具メーカー、企業研修および業務実績多数</p> <p>■その他</p>																																																																																																									

各科共通	授業科目名	担当講師	学期	午前/午後	必修/選択	授業形態	時間数
2年	就職講座2	長井 和代	前期/後期前半	午前・午後	必修	演習/講義	27

就活に関する基礎的な準備資料を早期に完成させる

■到達目標

自己PR、志望動機、業界職種研究、履歴書完成に向けて、自分自身の特性の理解や業界職種の知識を深める
早い段階での就活や夏休みのインターンに向けて準備を整える

■授業計画

	月日	曜日	授業項目	内容	教室	備考
1	4/19	金	業界・職種研究	就職活動のスケジュールの確認、2年生でやっておくべきこと 業界・職種研究(自分の方向性を考え、インターン先を検討する)	対面 ギャラリー/他教室	am VD pm SD・JD
2	5/17	金	自己分析・履歴書作成 インターンシップについて	自己分析の方法、履歴書への繋げ方 インターンシップについて(応募方法、インターンに参加する意義)	対面 ギャラリー/他教室	am VD pm SD・JD
3	6/21	金	ビジネスマナー・敬語 面接対策①	インターン参加にあたってのビジネスマナーの確認 インターン選考に臨む上での面接対策(面接の基礎知識)	オンライン	pm
4	7/30	火	書類選考(履歴書・PF) 実技試験・筆記試験	書類選考ではどのような点が見られるのか ポートフォリオ制作について、実技試験・筆記試験について	オンライン	pm
5	9/20	金	業界・企業研究	外部講師による講演から、業界や仕事を理解する。	対面 ギャラリー/他教室	企業担当者対応
6	10/18	金	面接対策②(面接、GD)	面接・GDで企業は何を見ているのか 面接の種類、オンライン面接の注意点	オンライン	pm
7	11/8	金	ポートフォリオ指導	学科別実施	対面 ギャラリー/他教室	企業担当者対応
8	12/6	金	面接対策③	面接で話す内容の具体的な準備 よくある質問、想定外の質問、会社への質問など	オンライン	pm
9	1/10	金	就活準備(総まとめ)	エントリーについて、ES・履歴書について 面接について、早期に就活を進めるメリットについて	対面 ギャラリー/他教室	am VD pm SD・JD

■履修上の注意事項

オンラインでの履修は、Macのカメラを必ずONにしてください。

動作安定性向上のため、事前にZOOMおよびChromeは起動して、アップデート/再起動をしておいてください。

■評価方法

授業態度(オンラインの場合、特段の理由がない限りカメラがオフの場合は欠席と見なします)

出席率 課題提出

■教科書、教材

GoogleClassroom経由で適時配布

■授業時間以外の学習

配付資料による復習

■教員紹介

国家資格キャリアコンサルタント兼デザイナー(グラフィック、テキスタイル、WEB)、キャリアインストラクター
官庁、化粧品メーカー、アパレル、医療・医薬品メーカー、信用金庫、建設等業務実績とOJT・就職支援多数

■その他

各科共通	授業科目名	担当講師	学期	午前/午後	必修/選択	授業形態	時間数																																																																																																									
3年	就職講座3	大岡 歩夢	前期/後期前半	午後	必修	演習/講義	15																																																																																																									
<p>■授業内容</p> <p>就活をスムーズに進めるための課題を明確にして、課題に応じた対策をとる。 個人模擬面接を通じて、自分自身と志望企業の適性をすりあわせる。</p> <p>■到達目標</p> <p>内定の早期取得 就職活動の具体的な内容の理解と行動</p>																																																																																																																
<p>■授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>月日</th> <th>曜日</th> <th>授業項目</th> <th>内容</th> <th>教室</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>4/12</td> <td>金</td> <td>面接対策</td> <td>採用側の視点を理解する/個人模擬面接</td> <td>対面 ギャラリー/他教室</td> <td>am VD pm SD,JD</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>5/10</td> <td>金</td> <td>面接対策と業界職種研究</td> <td>業界職種研究を見直す/個人模擬面接</td> <td>オンライン</td> <td>pm</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>6/7</td> <td>金</td> <td>面接対策</td> <td>グループディスカッション復習/個人模擬面接</td> <td>対面 ギャラリー/他教室</td> <td>am VD pm SD,JD</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>7/5</td> <td>金</td> <td>面接対策</td> <td>個人模擬面接</td> <td>オンライン</td> <td>pm</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>9/13</td> <td>金</td> <td>面接対策</td> <td>個人模擬面接</td> <td>対面 ギャラリー/他教室</td> <td>am VD pm SD,JD</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>7</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>8</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>9</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>10</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>11</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>12</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>13</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>14</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>									月日	曜日	授業項目	内容	教室	備考	1	4/12	金	面接対策	採用側の視点を理解する/個人模擬面接	対面 ギャラリー/他教室	am VD pm SD,JD	2	5/10	金	面接対策と業界職種研究	業界職種研究を見直す/個人模擬面接	オンライン	pm	3	6/7	金	面接対策	グループディスカッション復習/個人模擬面接	対面 ギャラリー/他教室	am VD pm SD,JD	4	7/5	金	面接対策	個人模擬面接	オンライン	pm	5	9/13	金	面接対策	個人模擬面接	対面 ギャラリー/他教室	am VD pm SD,JD	6							7							8							9							10							11							12							13							14						
	月日	曜日	授業項目	内容	教室	備考																																																																																																										
1	4/12	金	面接対策	採用側の視点を理解する/個人模擬面接	対面 ギャラリー/他教室	am VD pm SD,JD																																																																																																										
2	5/10	金	面接対策と業界職種研究	業界職種研究を見直す/個人模擬面接	オンライン	pm																																																																																																										
3	6/7	金	面接対策	グループディスカッション復習/個人模擬面接	対面 ギャラリー/他教室	am VD pm SD,JD																																																																																																										
4	7/5	金	面接対策	個人模擬面接	オンライン	pm																																																																																																										
5	9/13	金	面接対策	個人模擬面接	対面 ギャラリー/他教室	am VD pm SD,JD																																																																																																										
6																																																																																																																
7																																																																																																																
8																																																																																																																
9																																																																																																																
10																																																																																																																
11																																																																																																																
12																																																																																																																
13																																																																																																																
14																																																																																																																
<p>■履修上の注意事項</p> <p>オンラインでの履修は、Macのカメラを必ずONにしてください。 動作安定性向上のため、事前にZOOMおよびChromeは起動して、アップデート/再起動をしておいてください。</p> <p>■評価方法</p> <p>授業態度(オンラインの場合、特段の理由がない限りカメラがオフの場合は欠席と見なします) 出席率 課題提出</p> <p>■教科書、教材</p> <p>GoogleClassroom経由で適時配布</p> <p>■授業時間以外の学習</p> <p>配付資料による復習</p> <p>■教員紹介</p> <p>日本印刷技術協会 認定講師、提案型ウェブアナリスト、一般社団法人 日本ウェブアクセシビリティ協会 理事 大手建材メーカー、大手食品FC、大手広告代理店、大手家電メーカー、大手商社、海外家具メーカー、企業研修および業務実績多数</p> <p>■その他</p>																																																																																																																

各科共通	授業科目名	担当講師	学期	午前/午後	必/選	授業形態	時間数																																												
学年共通	課外授業(学校行事)	複数(教職員)	通年	午前・午後	必修	演習	78																																												
<p>■授業内容</p> <p>[前期] 入学式・ガイダンス、研修旅行、学生作品展 [後期] 山脇祭、卒業・進級制作展、卒業式など</p> <p>■到達目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人間力向上の為に学校行事等を通して、「コミュニケーション能力」、「主体性」、「チャレンジ精神」、「協調性」などを養う。 ・行事の目的を理解し、その達成のための行動がとれる。 ・本物の芸術文化に触れ、その良さを理解する。 ・様々な価値観を認めたり、視野を広げることで、より深い創造的な自分の見方や制作に発展させていく。 																																																			
<p>■授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>日</th> <th>時間</th> <th>授業項目</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4/5・8・9</td> <td>15h</td> <td>入学式・ガイダンス・新年度準備(健康診断)</td> <td>ガイダンスでは各科学年合同の施設案内や自己紹介など。</td> </tr> <tr> <td>5/30・31</td> <td>12h</td> <td>研修旅行</td> <td>1泊2日の研修旅行。美術館など各科関連施設の見学や体験。</td> </tr> <tr> <td>7/26</td> <td>6h</td> <td>学生作品展</td> <td>各教室や設備などの大掃除。学生作品展やコリドーギャラリーの展示作業。</td> </tr> <tr> <td>9/2～9/11</td> <td>30h</td> <td>山脇祭</td> <td>学生主体によるイベントと作品展示。準備から実施、片付けまで。</td> </tr> <tr> <td>2/19～2/27</td> <td>12h</td> <td>卒業・進級制作展</td> <td>展示作業から実施、片付けまで。展示ガイド当番(プレゼンテーション)。初日はオープニングセレモニー、片付け日は表彰式の実施。</td> </tr> <tr> <td>3/15</td> <td>3h</td> <td>卒業式</td> <td>卒業式後は各科学年合同のホームルームなど。</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>								日	時間	授業項目	内容	4/5・8・9	15h	入学式・ガイダンス・新年度準備(健康診断)	ガイダンスでは各科学年合同の施設案内や自己紹介など。	5/30・31	12h	研修旅行	1泊2日の研修旅行。美術館など各科関連施設の見学や体験。	7/26	6h	学生作品展	各教室や設備などの大掃除。学生作品展やコリドーギャラリーの展示作業。	9/2～9/11	30h	山脇祭	学生主体によるイベントと作品展示。準備から実施、片付けまで。	2/19～2/27	12h	卒業・進級制作展	展示作業から実施、片付けまで。展示ガイド当番(プレゼンテーション)。初日はオープニングセレモニー、片付け日は表彰式の実施。	3/15	3h	卒業式	卒業式後は各科学年合同のホームルームなど。																
日	時間	授業項目	内容																																																
4/5・8・9	15h	入学式・ガイダンス・新年度準備(健康診断)	ガイダンスでは各科学年合同の施設案内や自己紹介など。																																																
5/30・31	12h	研修旅行	1泊2日の研修旅行。美術館など各科関連施設の見学や体験。																																																
7/26	6h	学生作品展	各教室や設備などの大掃除。学生作品展やコリドーギャラリーの展示作業。																																																
9/2～9/11	30h	山脇祭	学生主体によるイベントと作品展示。準備から実施、片付けまで。																																																
2/19～2/27	12h	卒業・進級制作展	展示作業から実施、片付けまで。展示ガイド当番(プレゼンテーション)。初日はオープニングセレモニー、片付け日は表彰式の実施。																																																
3/15	3h	卒業式	卒業式後は各科学年合同のホームルームなど。																																																
<p>■履修上の注意事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各行事の達成までに、主体性・協調性を持ちながら準備を行う。 ・積極的に学年や科を越えたコミュニケーションを図る。 ・学校外の活動では、課外授業の意識を持ち品位ある行動をとる。 <p>■評価方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・レポート、出席状況など <p>■その他</p>																																																			